

第3次城陽市総合計画策定に係る  
まちづくり市民アンケート

報 告 書

平成18年12月

城 陽 市

## はじめに

本市では、平成6年に第2次城陽市総合計画を策定し、「緑と太陽、やすらぎのまち・城陽」をめざすべき都市像に、計画を推進してまいりました。

この間、本市を取り巻く環境は少子高齢化の進行や情報化社会の到来、地方分権の進展など、社会経済情勢が大きく変化し、さらに人口減少や長引く景気低迷の影響などにより都市構造や行財政構造などに変化が生じております。

このため、将来的な視点と展望に立った新たな総合計画（第3次城陽市総合計画）の策定に着手いたしました。

このアンケートは、市民の皆さんの意識やまちづくりに対する意向などを調査させていただき、新たな総合計画策定の基礎資料として活用することを目的に実施いたしました。

調査にご協力いただきました皆様方にお礼申し上げますとともに、今後一層の市政に対するご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成18年（2006年）12月

城陽市長 橋本昭男

# 目 次

1 . アンケート調査の概要	1
2 . アンケート調査結果	
. 回答者自身について	
( 1 ) 性別	2
( 2 ) 年齢	2
( 3 ) 職業	3
( 4 ) 居住期間	3
( 5 ) 住居形態	4
( 6 ) 校区	4
. 城陽市のことについて	
鉄道の利用しやすさ	5
路線バスの利用しやすさ	6
道路の利用しやすさ・安全性	7
歩道の利用しやすさ・安全性	8
水や緑などの自然環境の豊かさ	9
居住環境のよさ	10
川の水のきれいさ	11
市からの情報発信や情報提供	12
. 日常生活について	
( 1 ) 日常生活	13
防犯の面からみて、安全に暮らせるまちだと思えますか	13
市内を流れる川について、親しみやすいと感じていますか	14
高齢になっても、地域で安心して暮らせるまちだと思えますか	15
働くことと子育てが両立できる環境が整っていると思えますか	16
育児について相談できる場が整っていると思えますか	17
青少年が安全で健やかに育つ環境が整っていると思えますか	18
男女は平等であると思えますか	19
人権は尊重されていると思えますか	20
市役所職員の仕事や対応に満足していますか	21
( 2 ) 災害時	22
( 3 ) かかりつけ医	23
( 4 ) 地球環境問題	24

( 5 ) 近所との密接性	25
( 6 ) 活動	26
自主的な健康づくり活動	26
運動・スポーツの実施状況	27
生涯学習に係わる様々な講座	28
文化・芸術活動	29
・ 城陽市での定住意向について	
( 1 ) 永住意向	30
1 ) 永住理由	31
2 ) 移転理由	34
・ 自由意見	38
資料 アンケート調査票	39

# 1 アンケート調査の概要

## (1) 調査目的

市民の皆さんの意識やまちづくりに対する意向などをお伺いし、第3次総合計画策定におけるまちづくり指標の設定や今後の総合計画の進行管理の基礎資料とすることを目的に実施する。

## (2) 調査対象

- ・市内に居住の20歳以上の方から無作為で2,000人を抽出

## (3) 調査方法

- ・郵送により調査票を配布及び回収

## (4) 調査時期

- ・配布開始：平成18年9月 7日
- ・回収終了：平成18年9月18日

## (5) 回収状況

- ・回収数：1,171件
- ・回収率：58.6%

## (6) 調査内容

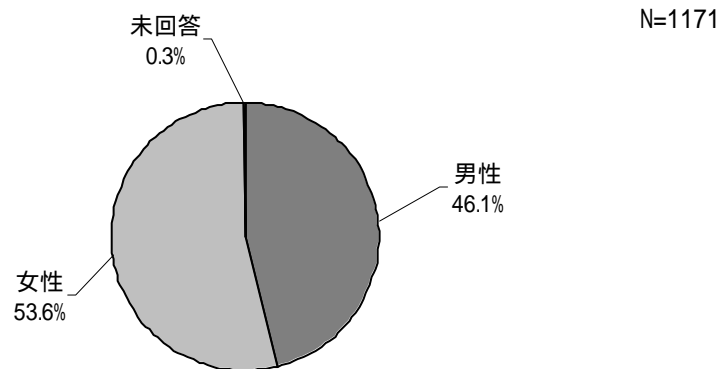
- ・回答者の属性
- ・城陽市のことについて
- ・日常生活について
- ・城陽市での定住意向について
- ・自由意見

## 2 アンケート調査結果

### ・ 回答者自身について

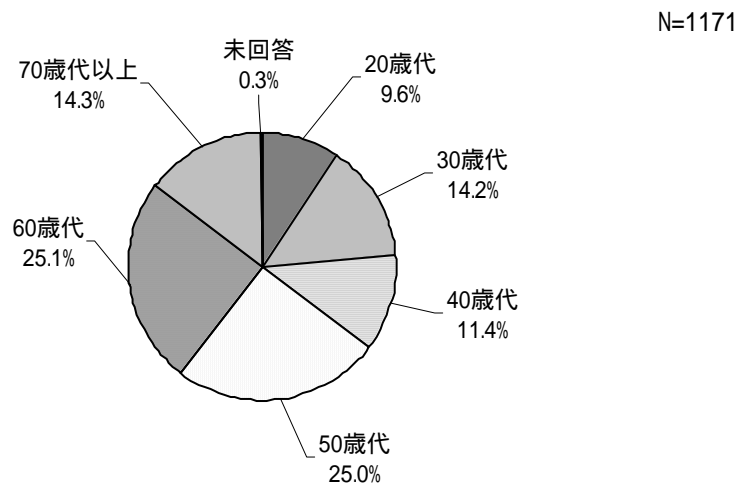
#### (1) あなたの性別は。

回答者の性別は、「男性」が46.1%、「女性」が53.6%でほぼ半数となっている。



#### (2) あなたの年齢は。

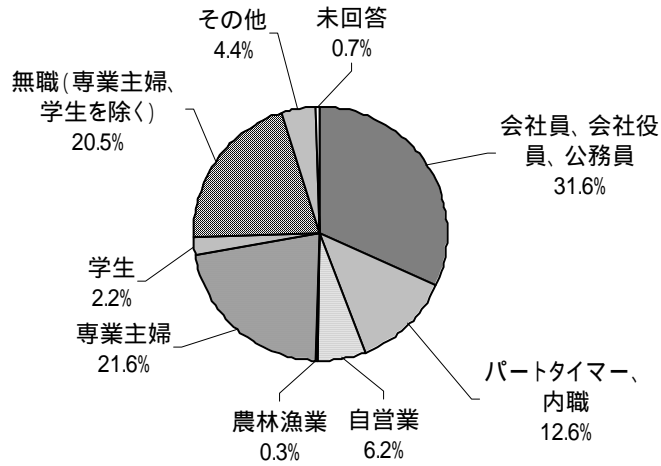
回答者の年齢は、「50歳代」が25.0%、「60歳代」が25.1%、「70歳代以上」が14.3%となっており、回答者の約4割が60歳以上となっている。



( 3 ) あなたの職業は。

回答者の職業は、「会社員、会社役員、公務員」が 31.6%で最も多く、次いで「専業主婦」が 21.6%、「無職」が 20.5%となっている。

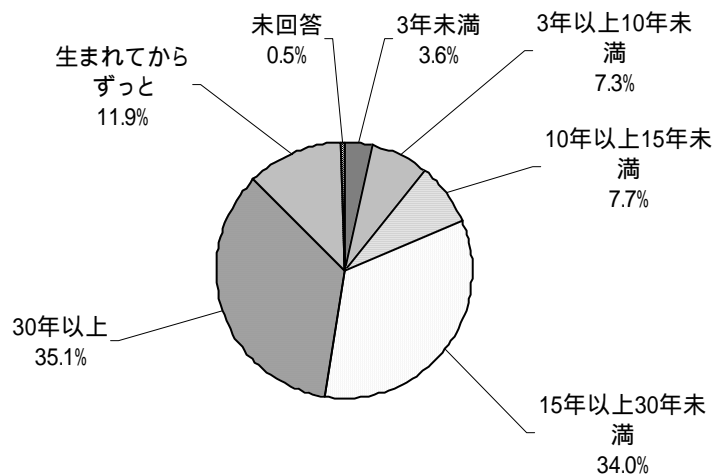
N=1171



( 4 ) あなたは城陽市にお住みになって何年になりますか。

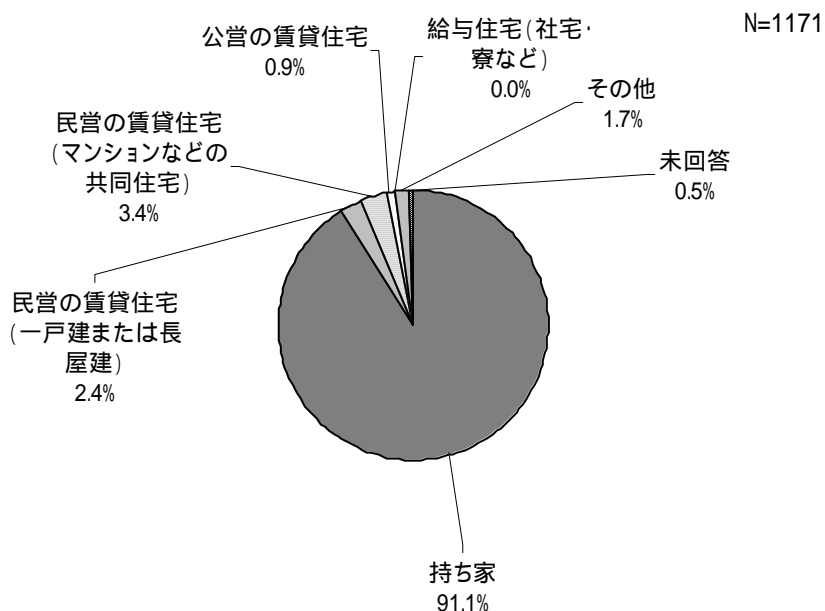
回答者の居住年数は、「30年以上」が 35.1%、「15年以上30年未満」が 34.0%であり、回答者の約7割が、15年以上城陽市に住んでいる人となっている。

N=1171



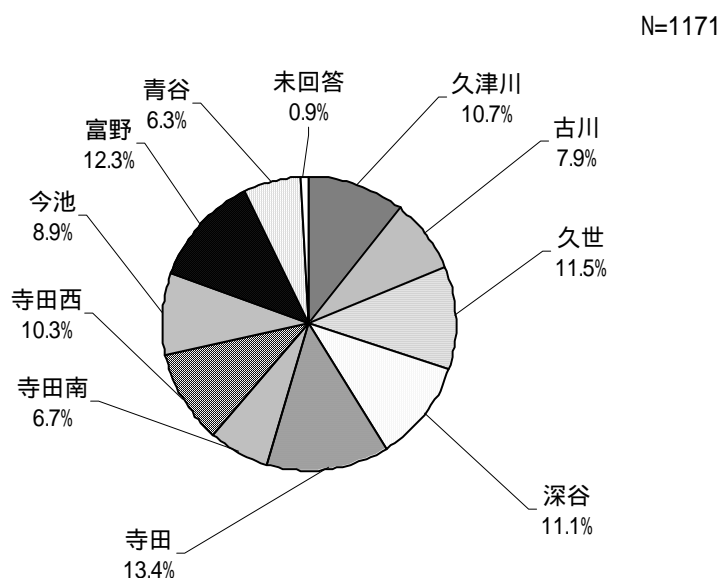
( 5 ) あなたのお住まいは。

回答者の住居の形態は、「持ち家」が91.1%と、9割以上を占めている。



( 6 ) あなたのお住まいの小学校区は。

回答者の住んでいる地域は、「寺田」が13.4%で最も多く、次いで「富野」が12.3%、「久世」が11.5%の順となっており、「寺田」、「富野」の割合がやや高くなっている。





## 城陽市のことについて

(1)あなたが城陽市に住んでいて、次の項目についてどのように感じているのかをお答えください。あてはまる番号に をつけてください。

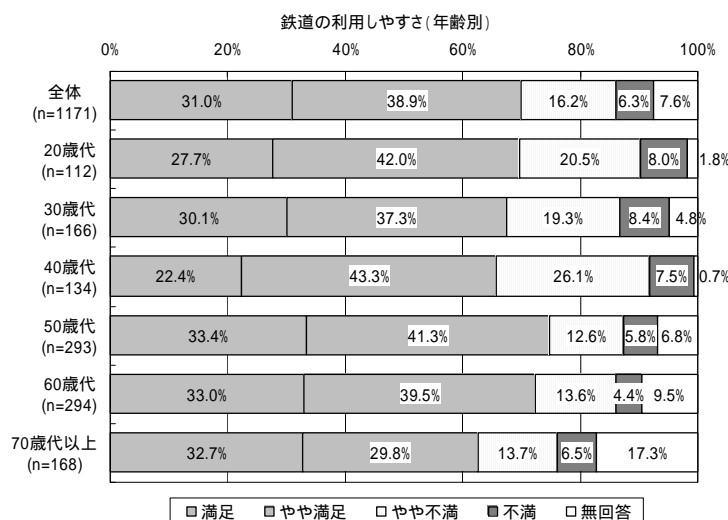
### 鉄道の利用しやすさ

全体では、「やや満足」と回答した人が 38.9%で最も多く、次いで「満足」が 31.0%となっている。「満足」と「やや満足」を合計すると約 7 割の人が鉄道の利用しやすさに対して満足と感じている。

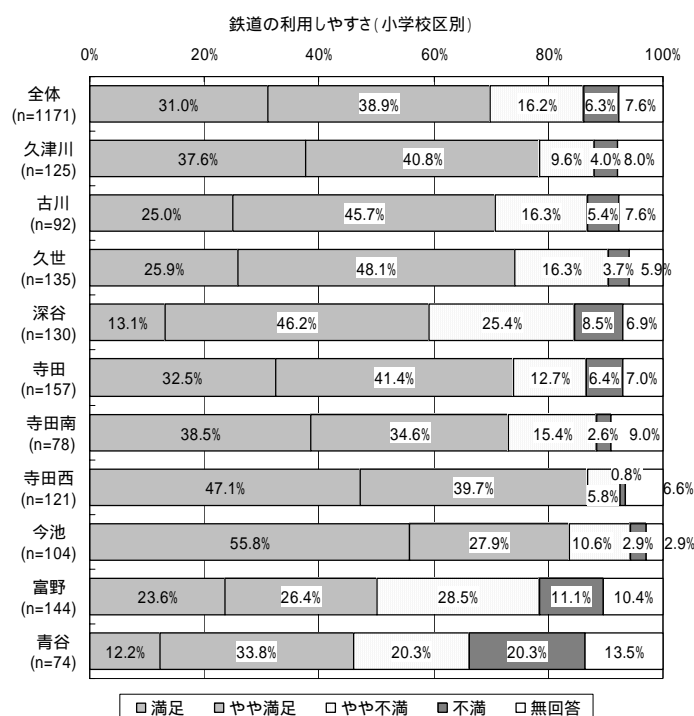
年齢別では、いずれの年齢でも全体と同じ傾向となっているが、70 歳代以上では、鉄道の利用しやすさに対する満足は 6 割とやや低くなっている。

地域別では、「満足」と「やや満足」を合計すると寺田西で約 9 割、今池、久津川で約 8 割と全体と比較して高くなっている。反対に青谷では約 5 割と低く、他の地域と比較して鉄道の利用しやすさに対して不満と感じている人の割合が高くなっている。

#### < 年齢別 >



#### < 小学校区別 >



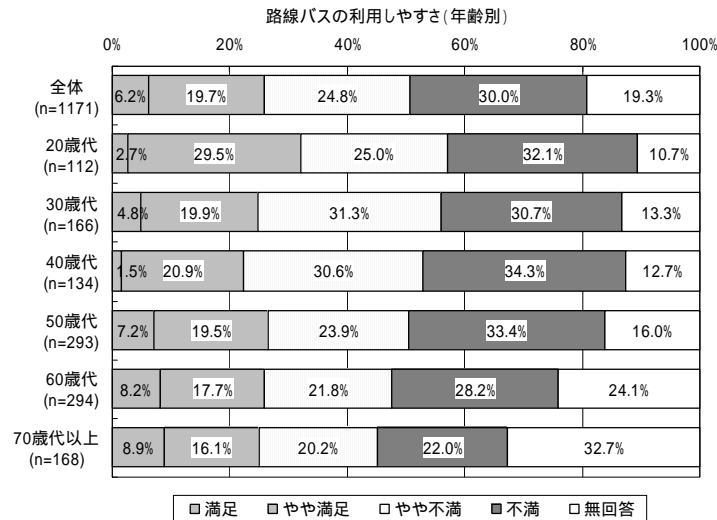
## 路線バス ( )の利用しやすさ

全体では、「不満」と回答した人が30.0%で最も多く、次いで「やや不満」が24.8%となっている。「不満」と「やや不満」を合計すると約5割の人が路線バスの利用しやすさに対して不満に感じている。

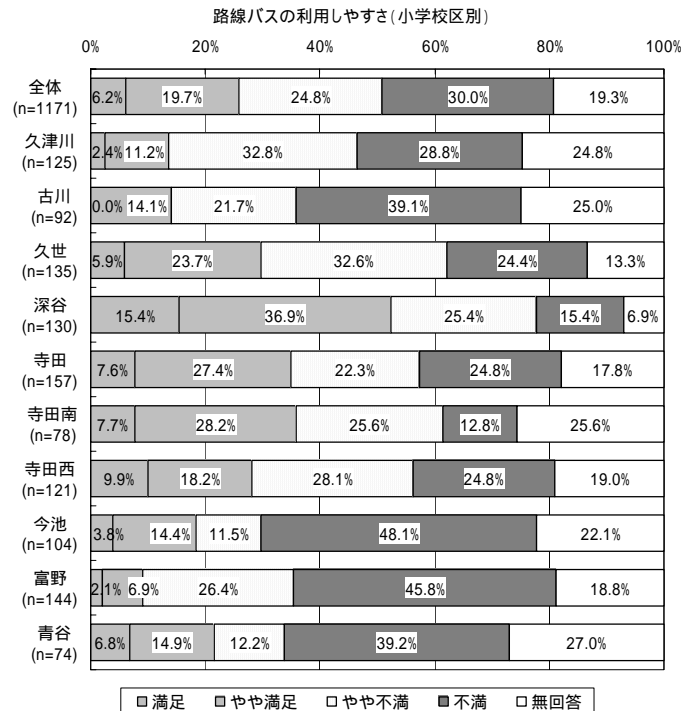
年齢別では、20歳代で「やや満足」が29.5%とやや多くなっているが、いずれの年齢でも全体とほぼ同じで路線バスの利用しやすさに対して不満に感じている人の割合が高くなっている。

地域別では、「不満」と「やや不満」を合計した割合が富野で約7割、久津川、古川、今池で約6割と全体と比較して高くなっている。反対に深谷では「満足」と「やや満足」を合計した割合が約5割と高く、他の地域と比較して路線バスの利用しやすさに対して満足と感じている人の割合が高くなっている。

### <年齢別>



### <小学校区別>



路線バス：市が補助金を交付して運行している近鉄寺田駅とプラムイン城陽を結ぶ路線、市内北東部を循環する路線、及び鴻ノ巣台地域と水主地域を結ぶ路線をいう。

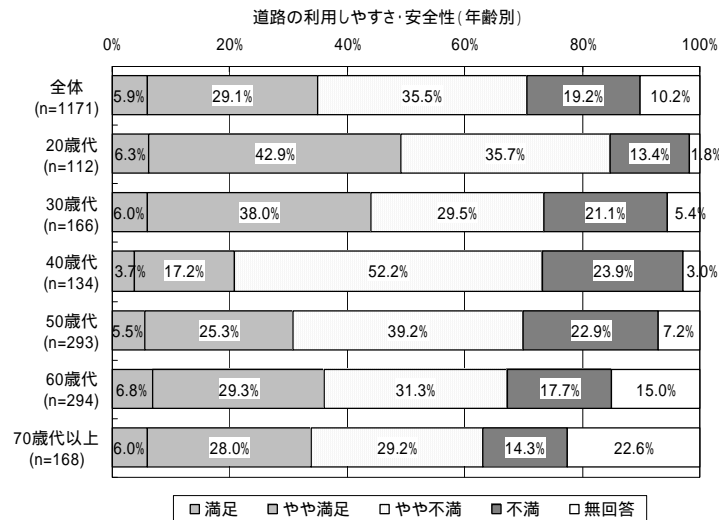
## 道路の利用しやすさ・安全性

全体では、「不満」と回答した人が 35.5%で最も多く、次いで「やや満足」が 29.1%となっている。「不満」と「やや不満」を合計すると約 5 割強の人が道路の利用しやすさ・安全性に対して不満に感じている。

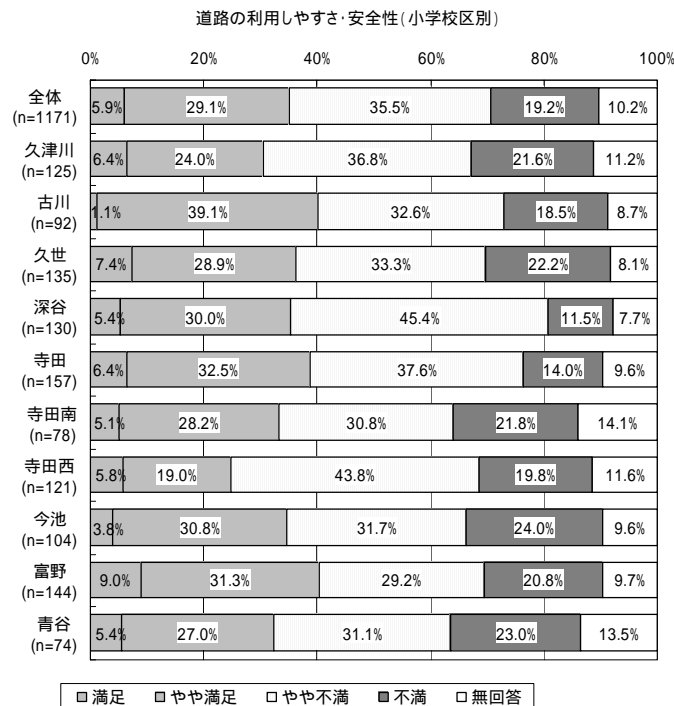
年齢別では、20 歳代で「やや満足」が 42.9%と多く、40 歳代で 17.2%と少なくなっている。「不満」と「やや不満」を合計した割合は 40 歳代で約 8 割と高くなっており、道路の利用しやすさ・安全性に対して不満に感じている人の割合が高くなっている。

地域別では、全体とほぼ同様の傾向が見られ、「不満」と「やや不満」を合計した割合は寺田西で約 6 割で全体と比較してやや高くなっている。

### < 年齢別 >



### < 小学校区別 >



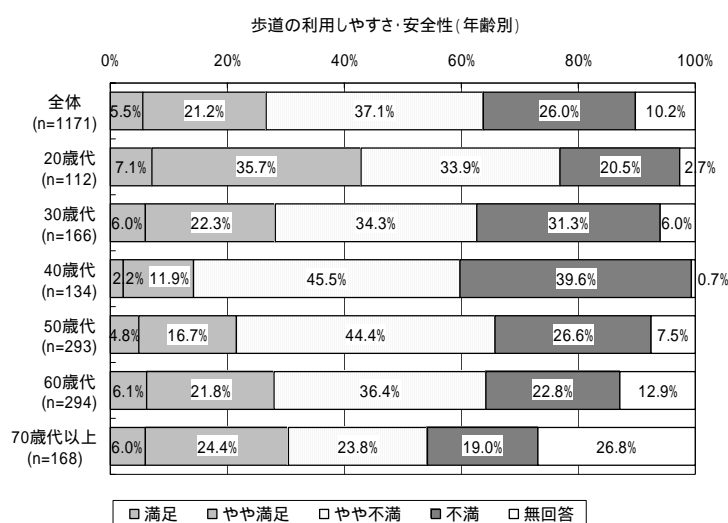
## 歩道の利用しやすさ・安全性

全体では、「やや不満」と回答した人が 37.1%で最も多く、次いで「不満」が 26.0%となっている。「不満」と「やや不満」を合計すると約 6 割強の人が歩道の利用しやすさ・安全性に対して不満に感じている。

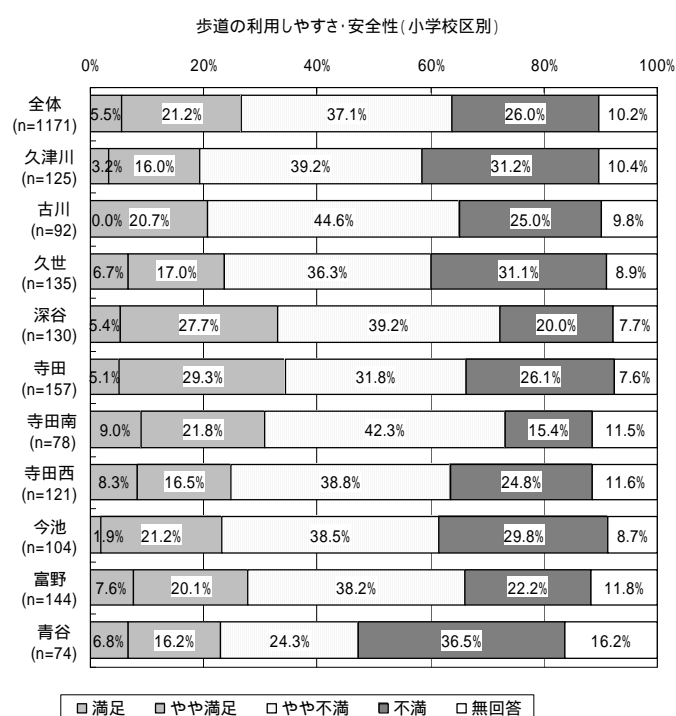
年齢別では、20 歳代で「やや満足」が 35.7%とやや多くなっているが、いずれの年齢でも歩道の利用しやすさ・安全性に対して不満に感じている人の割合が高くなっている。特に 40 歳代では「不満」と「やや不満」を合計した割合が約 8 割強と高く、歩道の利用しやすさ・安全性に対して不満に感じている人の割合が高くなっている。

地域別では、全体とほぼ同様の傾向となっているが、深谷、寺田で「満足」と「やや満足」を合計した割合が高く、他の地域と比較して歩道の利用しやすさ・安全性に対して満足と感じている人の割合が高くなっている。

### < 年齢別 >



### < 小学校区別 >



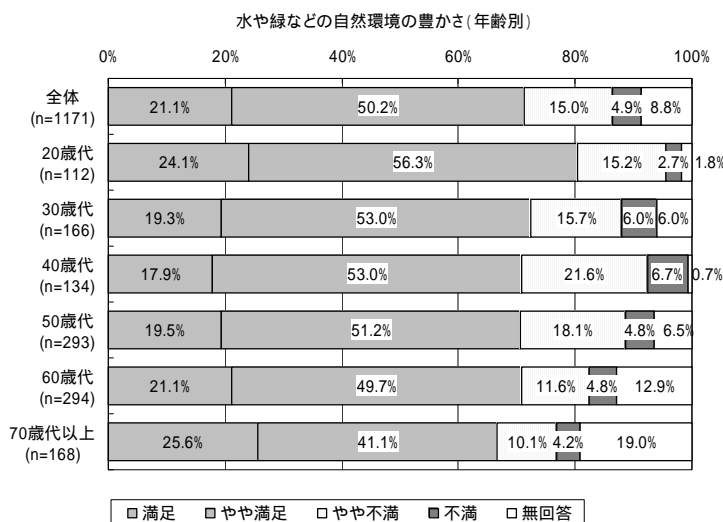
## 水や緑などの自然環境の豊かさ

全体では、「やや満足」と回答した人が 50.2%で最も多く、次いで「満足」が 21.1%となっている。「満足」と「やや満足」を合計すると約 7 割の人が水や緑などの自然環境の豊かさに対して満足と感じている。

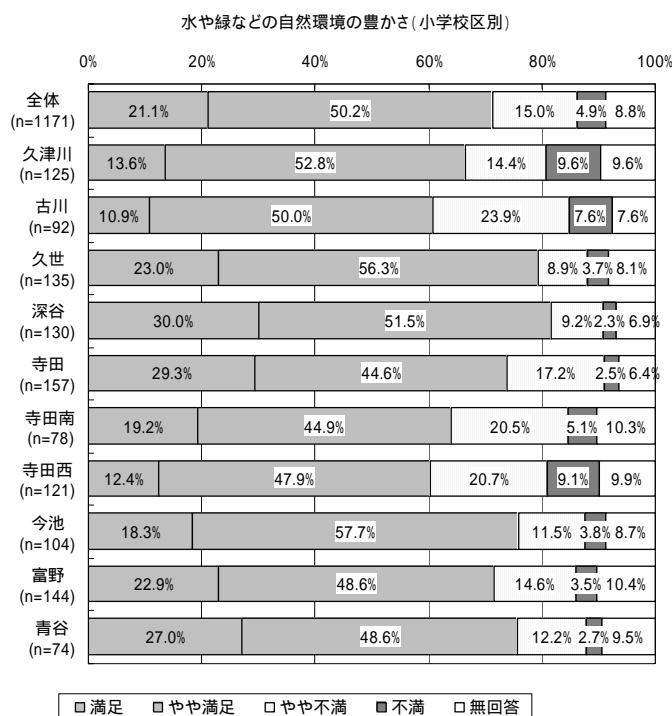
年齢別では、いずれの年齢でも全体と同じ傾向となっているが、年齢層が上がるに従って「満足」と「やや満足」を合計した割合は低くなっている。

地域別では、「満足」と「やや満足」を合計した割合は深谷で約 8 割と全体と比較して高くなっている。反対に古川、寺田西では約 5 割と低く、他の地域と比較して水や緑などの自然環境の豊かさに対して不満と感じている人の割合が高くなっている。

### < 年齢別 >



### < 小学校区別 >



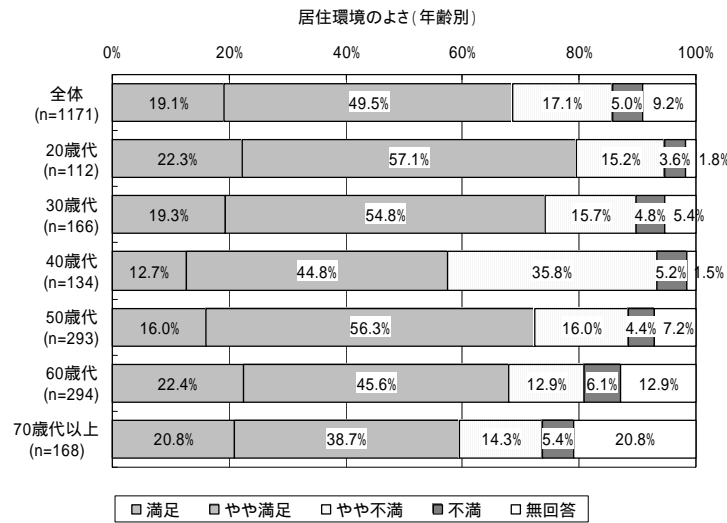
## 居住環境のよさ

全体では、「やや満足」と回答した人が49.5%で最も多く、次いで「満足」が19.1%となっている。「満足」と「やや満足」を合計すると約7割の人が居住環境のよさに対して満足と感じている。

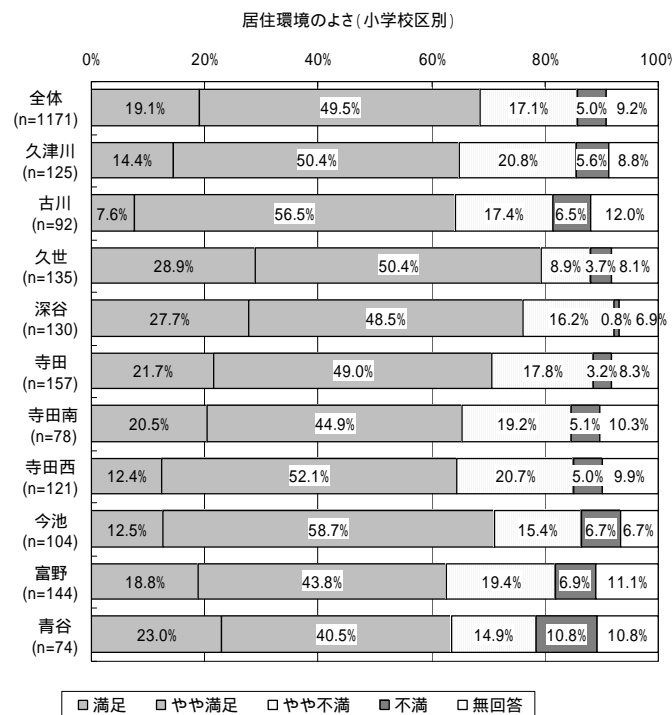
年齢別では、いずれの年齢でも全体と同じ傾向となっているが、40歳代、70歳代以上で「満足」と「やや満足」を合計した割合は約6割となっており、居住環境のよさに対する満足はやや低くなっている。

地域別では、「満足」と「やや満足」を合計した割合が久世、深谷で約8割と全体と比較して高く、他の地域と比較して居住環境のよさに対して満足と感じている人の割合が高くなっている。

### <年齢別>



### <小学校区別>



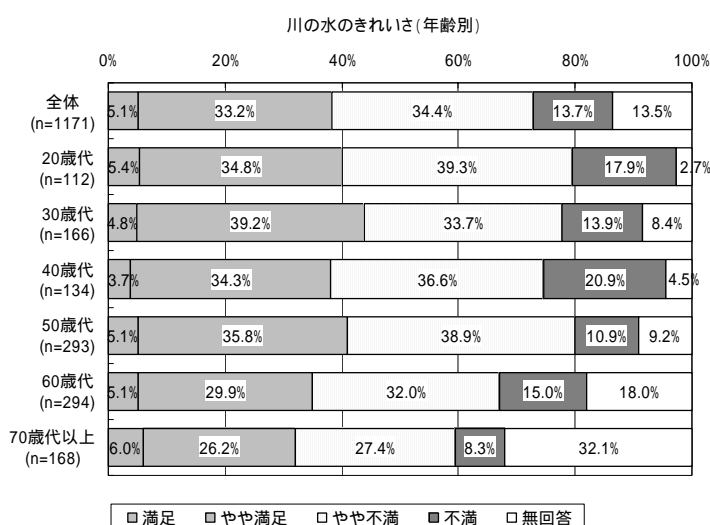
## 川の水のきれいさ

全体では、「やや不満」と回答した人が34.4%で最も多くなっているものの、「不満」と「やや不満」を合計すると約5割の人が川の水のきれいさに対して不満と感じており、「満足」と「やや満足」の合計（38.3%）よりも多くなっている。

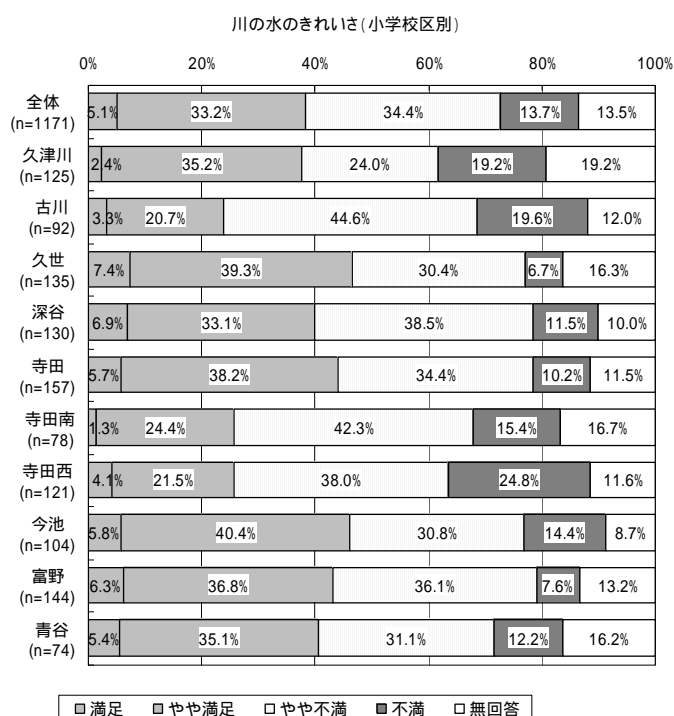
年齢別では、いずれの年齢でも全体と同じ傾向となっているが、年齢があがるほど川の水のきれいさに対する満足度は低くなる傾向となっている。

地域別では、「不満」と「やや不満」を合計した割合が古川、寺田西、寺田南で約6割と全体と比較して高く、川の水のきれいさに対して不満と感じている人の割合が高くなっている。反対に久世では約4割と低く、他の地域と比較して川の水のきれいさに対して満足と感じている人の割合が高くなっている。

### <年齢別>



### <小学校区別>



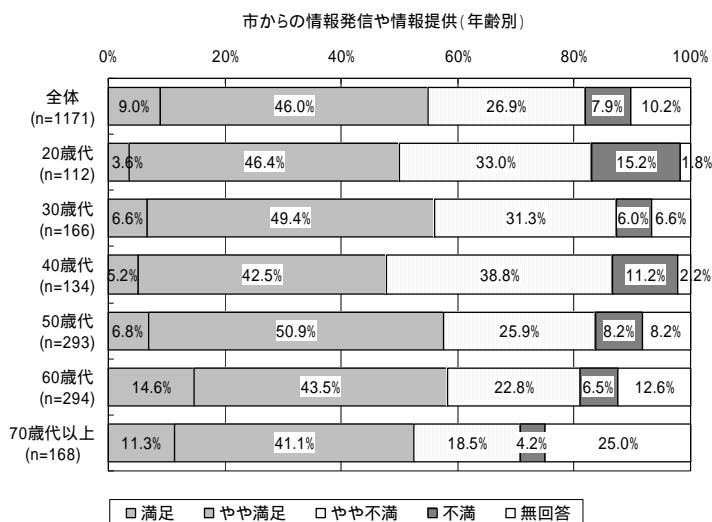
### 市からの情報発信や情報提供

全体では、「やや満足」と回答した人が46.0%で最も多く、次いで「やや不満」が26.9%となっている。「満足」と「やや満足」を合計すると約6割の人が市からの情報発信や情報提供に対して満足と感じている。

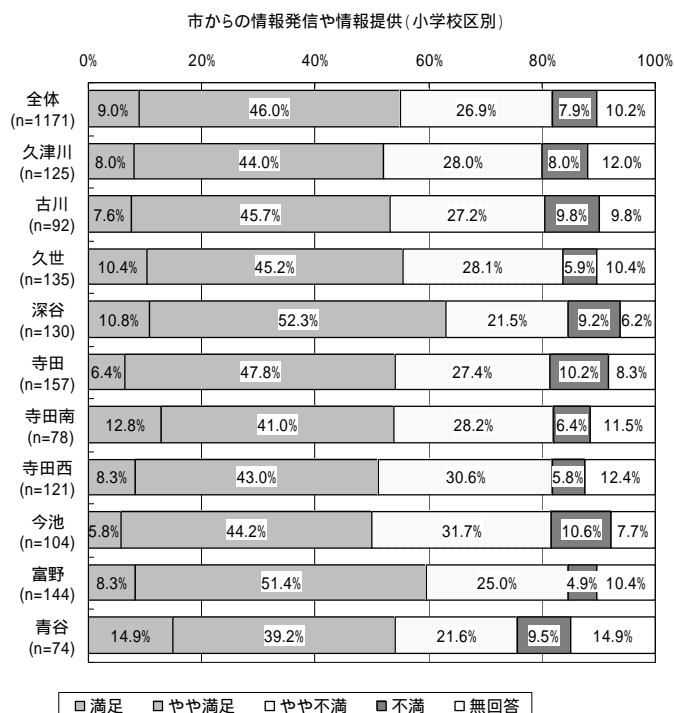
年齢別では、いずれの年齢でも全体と同じ傾向となっているが、40歳代では、「満足」と「やや満足」を合計した割合は5割とやや低く、情報発信や情報提供に対する満足が低くなっている。

地域別では、いずれの地域でも全体とほぼ同じ傾向となっているが、深谷で「満足」と「やや満足」を合計した割合が6割と高くなっている。

#### < 年齢別 >



#### < 小学校区別 >





## ・ 日常生活について

(1) あなたの普段の生活について、次の項目についておたずねします。あなたの実感に最も近い番号に をつけてください。

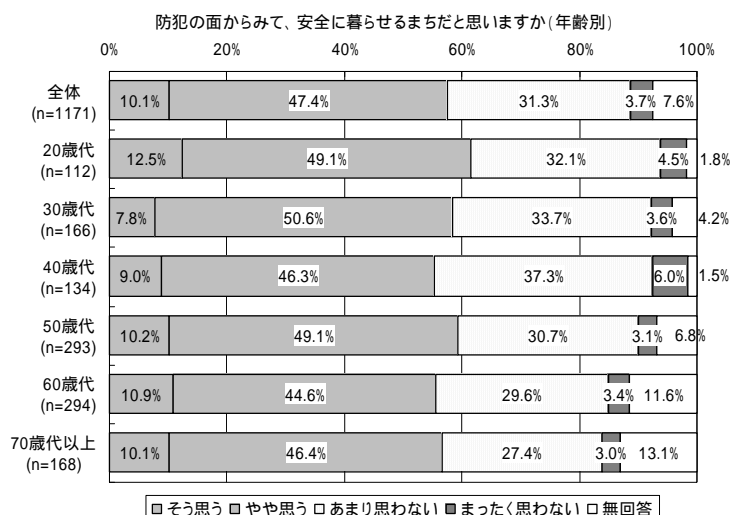
防犯の面からみて、安全に暮らせるまちだと思いますか

全体では、「やや思う」と回答した人が47.4%で最も多く、次いで「あまり思わない」が31.3%となっている。「そう思う」と「やや思う」を合計すると約6割の人が防犯の面からみて、安全に暮らせるまちであると感じている。

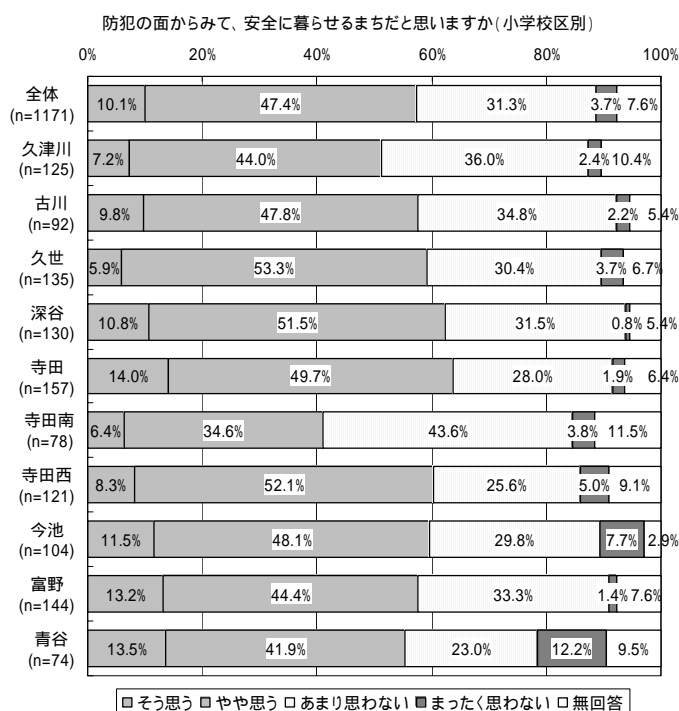
年齢別では、いずれの年齢でも全体とほぼ同じ傾向となっている。

地域別では、「そう思う」と「やや思う」を合計した割合が寺田南で約4割と全体と比較して低く、他の地域と比較して防犯の面からみて、安全に暮らせるまちであると感じている人の割合が低くなっている。

### < 年齢別 >



### < 小学校区別 >



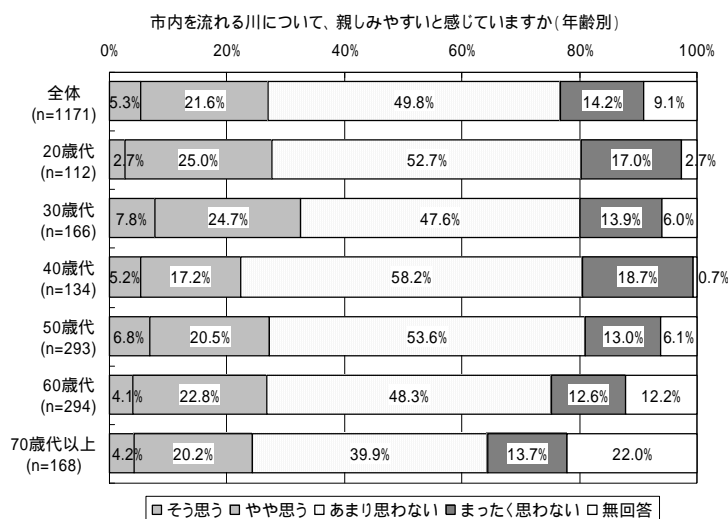
### 市内を流れる川について、親しみやすいと感じていますか

全体では、「あまり思わない」と回答した人が49.8%で最も多く、次いで「やや思う」が21.6%となっている。「そう思う」と「やや思う」を合計すると約3割の人が市内を流れる川について、親しみやすいと感じている。

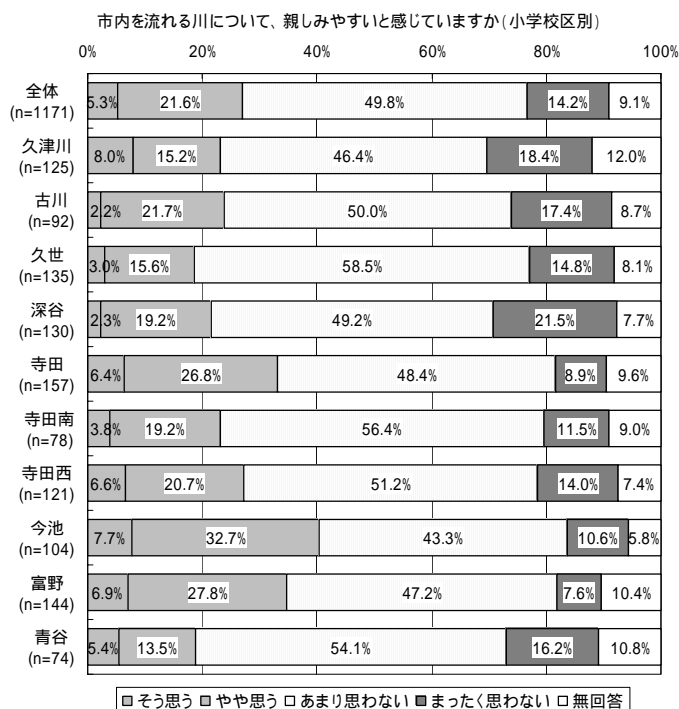
年齢別では、いずれの年齢でも全体とほぼ同じ傾向となっているが、「そう思う」と「やや思う」を合計した割合は40歳代で約2割と低くなっている。

地域別では、「そう思う」と「やや思う」を合計した割合は今池で約4割と全体と比較して高く、他の地域と比較して市内を流れる川について、親しみやすいと感じている人の割合が高くなっている。

#### <年齢別>



#### <小学校区別>



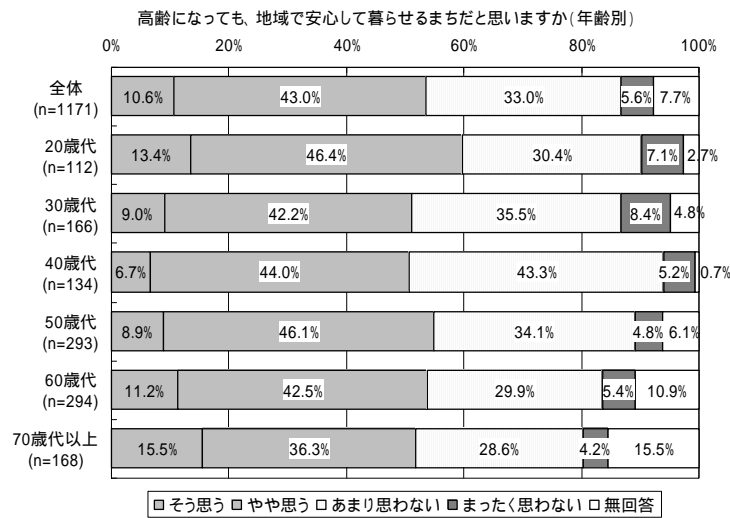
高齢になっても、地域で安心して暮らせるまちだと思いますか

全体では、「やや思う」と回答した人が43.0%で最も多く、次いで「あまり思わない」が33.0%とほぼ二分している。「そう思う」と「やや思う」を合計すると約5割の人が高齢になっても、地域で安心して暮らせるまちだと感じている。

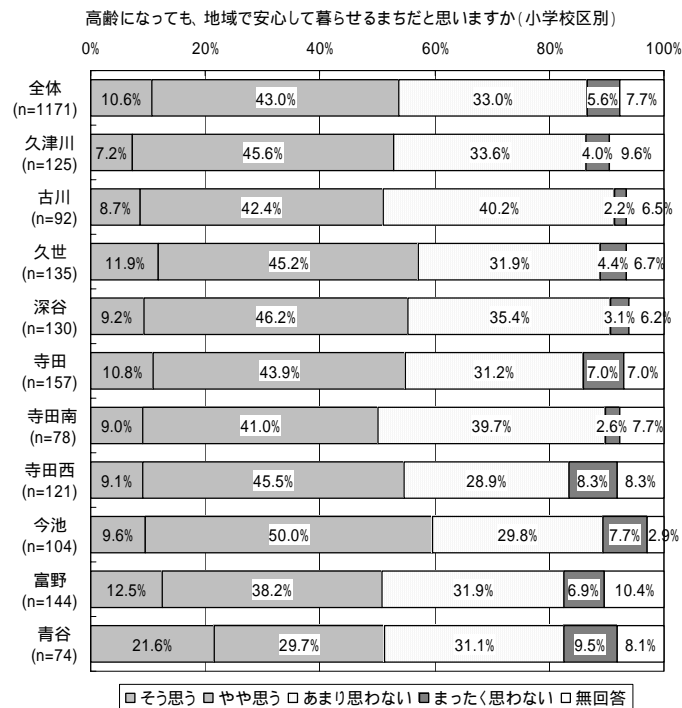
年齢別では、いずれの年齢でも全体とほぼ同じ傾向となっているが、40歳代で「あまり思わない」と感じている人が多くなっている。

地域別では、いずれの地域でも全体とほぼ同じ傾向となっているが、特徴的な点としては青谷で「そう思う」と回答した人が21.6%と多くなっている。

< 年齢別 >



< 小学校区別 >



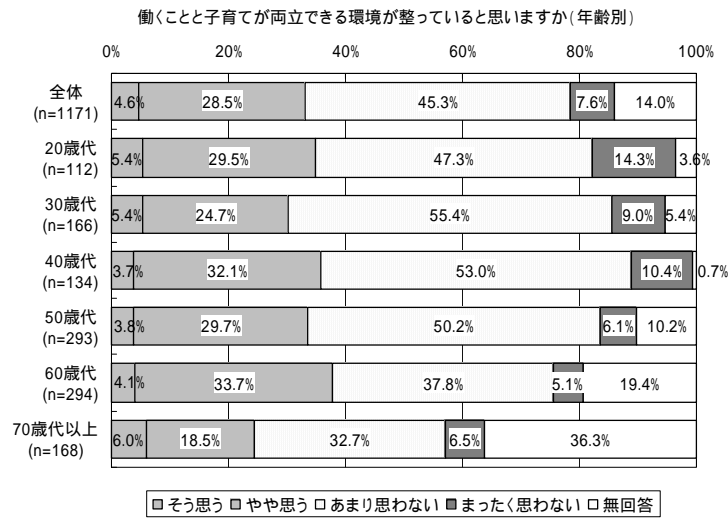
働くことと子育てが両立できる環境が整っていると思いますか

全体では、「あまり思わない」と回答した人が45.3%で最も多く、次いで「やや思う」が28.5%となっている。「そう思う」と「やや思う」を合計すると約3割の人が働くことと子育てが両立できる環境が整っていると感じている。

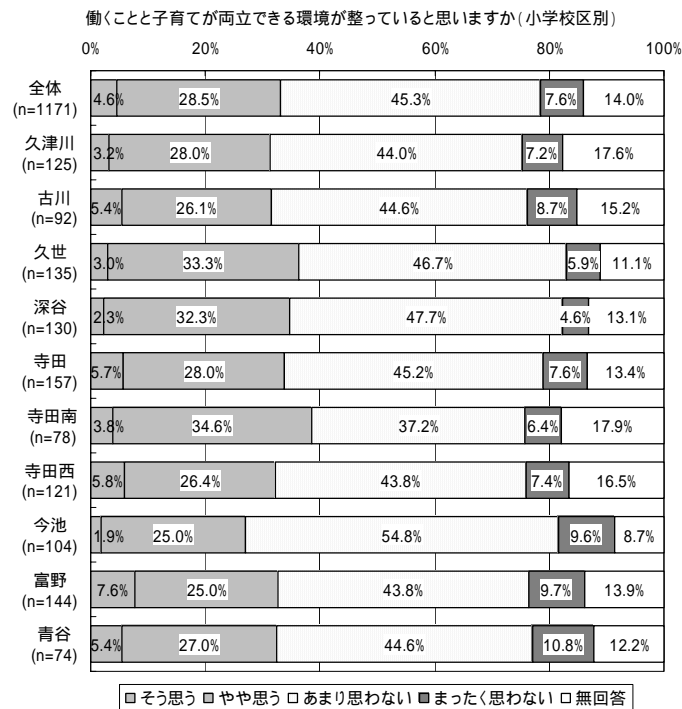
年齢別では、いずれの年齢でも全体とほぼ同じ傾向となっているが、特に主たる子育て層である30歳代、40歳代で「あまり思わない」と回答した人が多くなっている。

地域別では、いずれの地域でも全体とほぼ同じ傾向となっているが、今池で「あまり思わない」と回答した人が54.8%とやや多くなっている。

<年齢別>



<小学校区別>



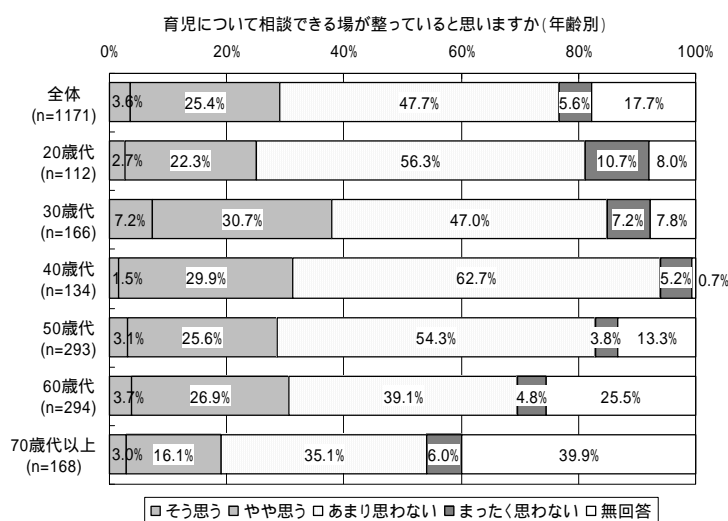
育児について相談できる場が整っていると思いますか

全体では、「あまり思わない」と回答した人が47.7%で最も多く、次いで「やや思う」が25.4%となっている。「そう思う」と「やや思う」を合計すると約3割の人が育児について相談できる場が整っていると感じている。

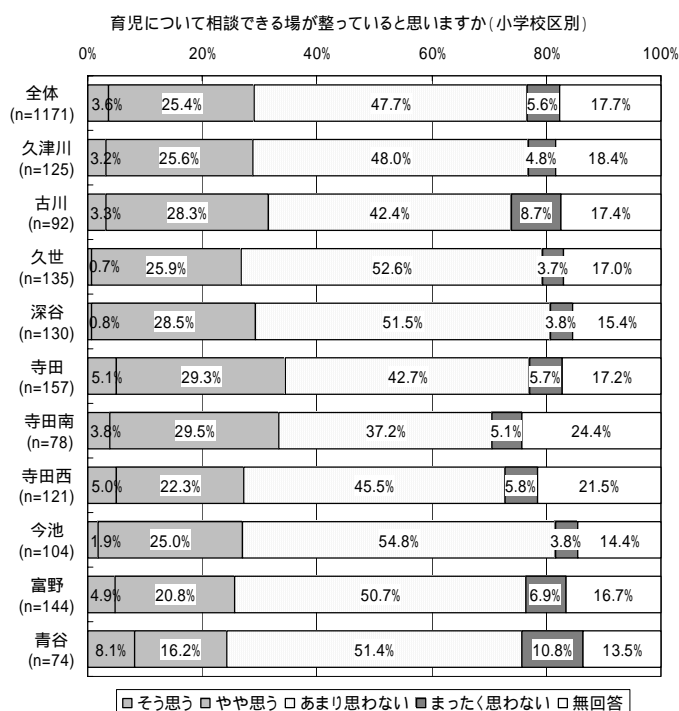
年齢別では、「そう思う」と「やや思う」を合計した割合が30歳代で約4割と高くなっているが、70歳代以上では2割と低くなっている。反対に、20歳代、40歳代では「あまり思わない」と「まったく思わない」を合計した割合が全体と比較して高くなっている。

地域別では、いずれの地域でも全体とほぼ同じ傾向となっているが、「あまり思わない」と「まったく思わない」を合計した割合は青谷、富野、今池で約6割と全体と比較して高く、他の地域と比較して育児について相談できる場が整っていると感じている人の割合が低くなっている。

<年齢別>



<小学校区別>



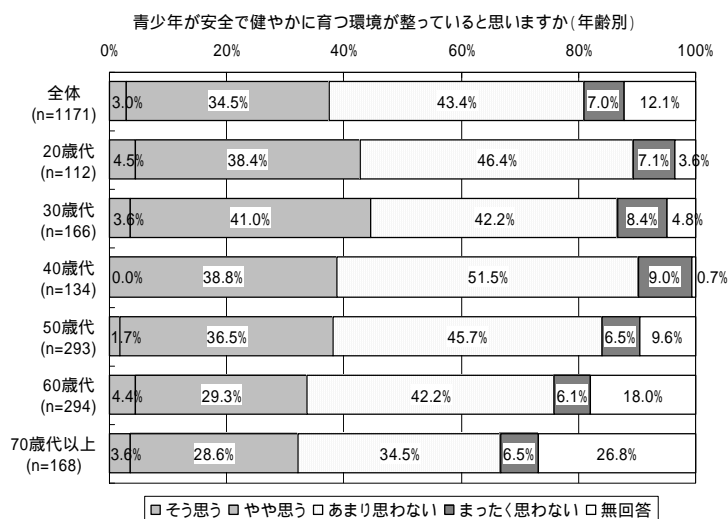
### 青少年が安全で健やかに育つ環境が整っていると思いますか

全体では、「あまり思わない」と回答した人が43.4%で最も多く、次いで「やや思う」が34.5%となっている。「そう思う」と「やや思う」を合計すると約4割の人で青少年が安全で健やかに育つ環境が整っていると感じている。

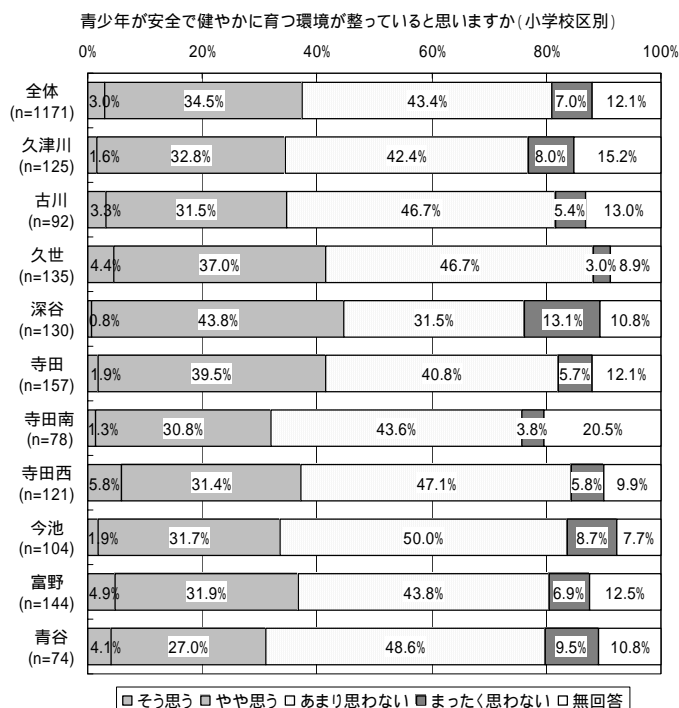
年齢別では、いずれの年齢でも全体とほぼ同じ傾向となっているが、「あまり思わない」と「まったく思わない」を合計した割合は年齢層が上がるにつれて低くなっている。

地域別では、いずれの地域でも全体とほぼ同じ傾向となっているが、「あまり思わない」と「まったく思わない」を合計した割合は今池、青谷で約6割と全体と比較して高く、他の地域と比較して青少年が安全で健やかに育つ環境が整っていると感じている人の割合が低くなっている。

#### <年齢別>



#### <小学校区別>



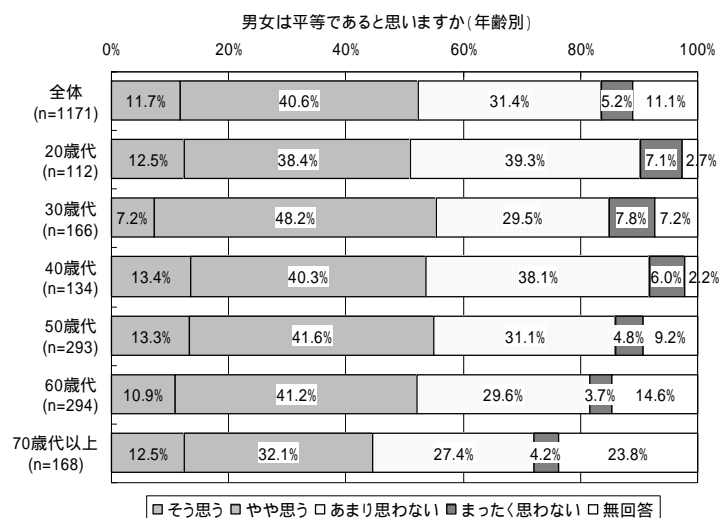
### 男女は平等であると思いますか

全体では、「やや思う」と回答した人が40.6%で最も多く、次いで「あまり思わない」が31.4%となっている。「そう思う」と「やや思う」を合計すると約5割の人が男女は平等であると感じている。

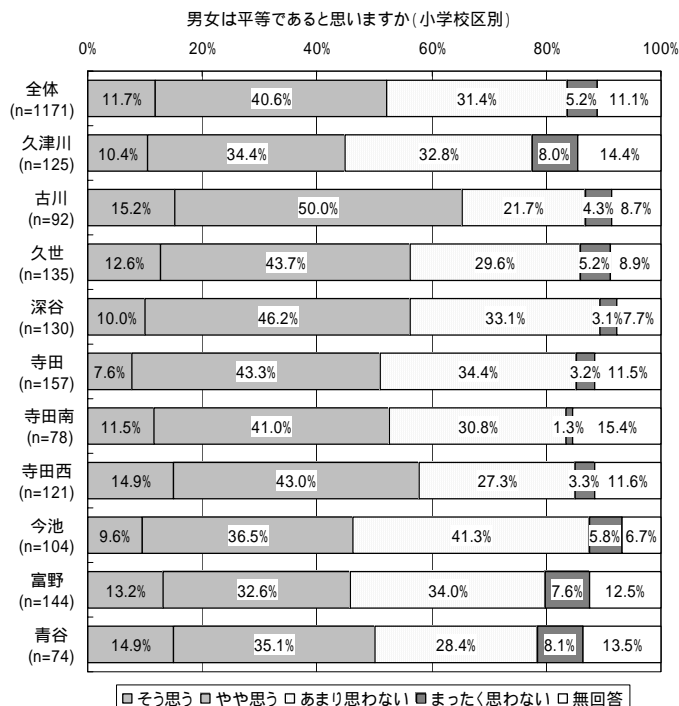
年齢別では、いずれの年齢でも全体とほぼ同じ傾向となっているが、70歳代以上で「そう思う」と「やや思う」を合計した割合は約4割と低くなっている。

地域別では、「そう思う」と「やや思う」を合計した割合は古川で約6割強と全体と比較して高く、他の地域と比較して男女は平等であると感じている人の割合が高くなっている。

#### <年齢別>



#### <小学校区別>



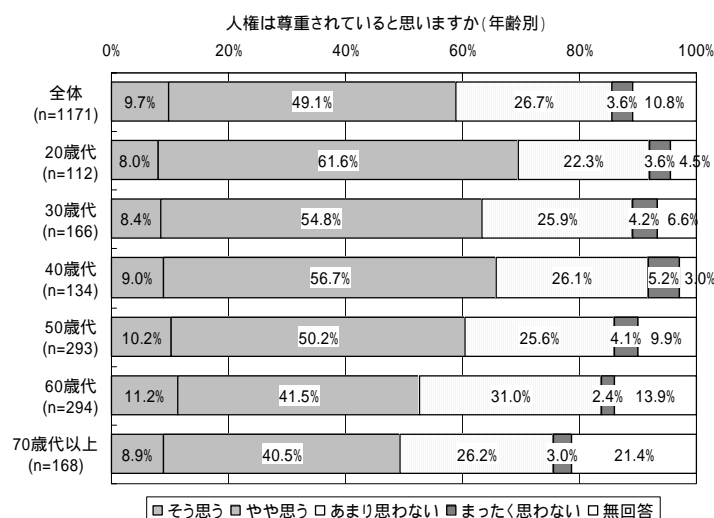
## 人権は尊重されていると思いますか

全体では、「やや思う」と回答した人が49.1%で最も多く、次いで「あまり思わない」が26.7%となっている。「そう思う」と「やや思う」を合計すると約6割の人が人権は尊重されていると感じている。

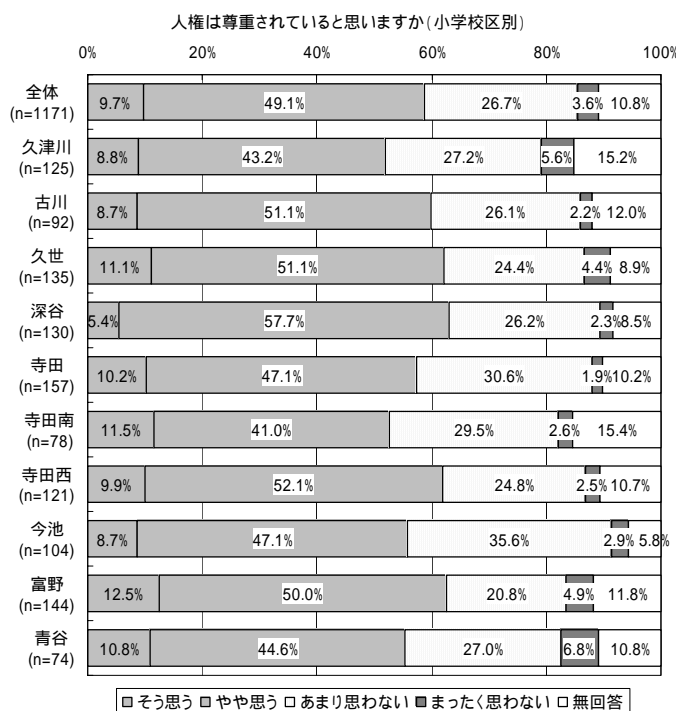
年齢別では、いずれの年齢でも全体とほぼ同じ傾向となっているが、20歳代で「そう思う」と「やや思う」を合計した割合が約7割と高く、年齢層が上がるにつれて低くなっている。

地域別では、いずれの地域でも全体とほぼ同じ傾向となっているが、「そう思う」と「やや思う」を合計した割合は久津川、寺田南で約5割と全体と比較して低く、他の地域と比較して人権は尊重されていると感じている人の割合が低くなっている。

### <年齢別>



### <小学校区別>





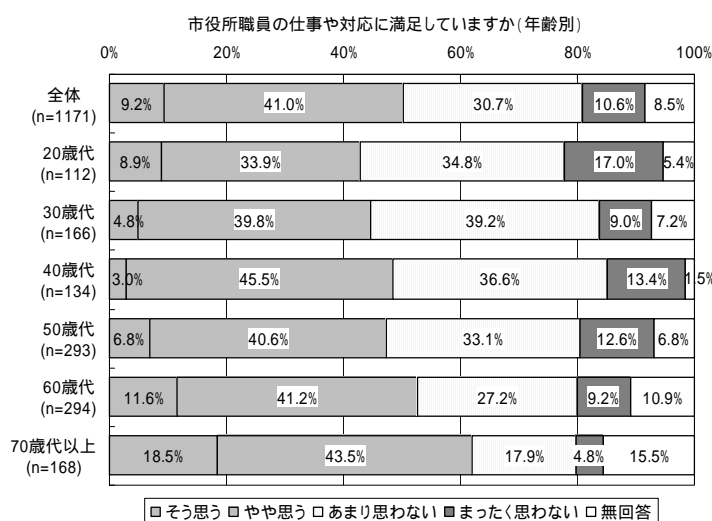
### 市役所職員の仕事や対応に満足していますか

全体では、「やや思う」と回答した人が41.0%で最も多く、次いで「あまり思わない」が30.7%となっている。「そう思う」と「やや思う」を合計すると約5割の人が市役所職員の仕事や対応に満足していると感じている。

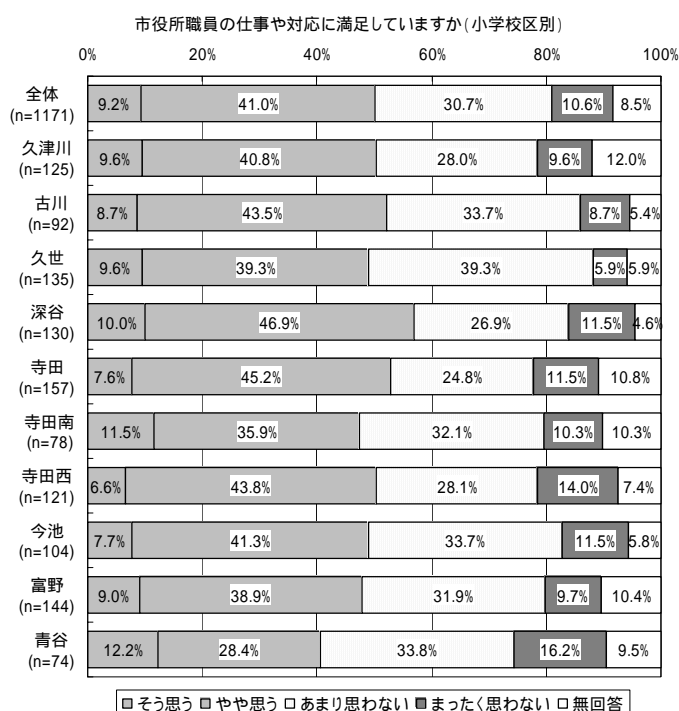
年齢別では、70歳代以上で「そう思う」と回答した人が18.5%と多く、「そう思う」と「やや思う」を合計した割合も約6割と高くなっている。

地域別では、いずれの地域でも全体とほぼ同じ傾向となっているが、「そう思う」と「やや思う」を合計した割合は青谷で約4割と全体と比較して低くなっており、他の地域と比較して市役所職員の仕事や対応に満足していると感じている人の割合が低い。

#### < 年齢別 >



#### < 小学校区別 >



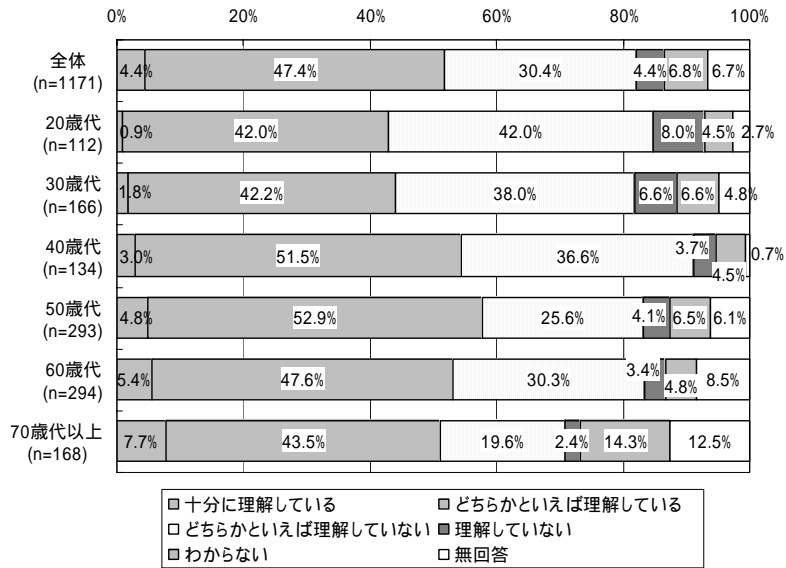
(2) あなたは地震などの災害が起きたときに、何をすべきか理解していますか。あてはまる番号に をつけてください。

全体では、「どちらかと言えば理解している」と回答した人が 47.4%で最も多く、次いで「どちらかと言えば理解していない」が 30.4%でほぼ二分している。

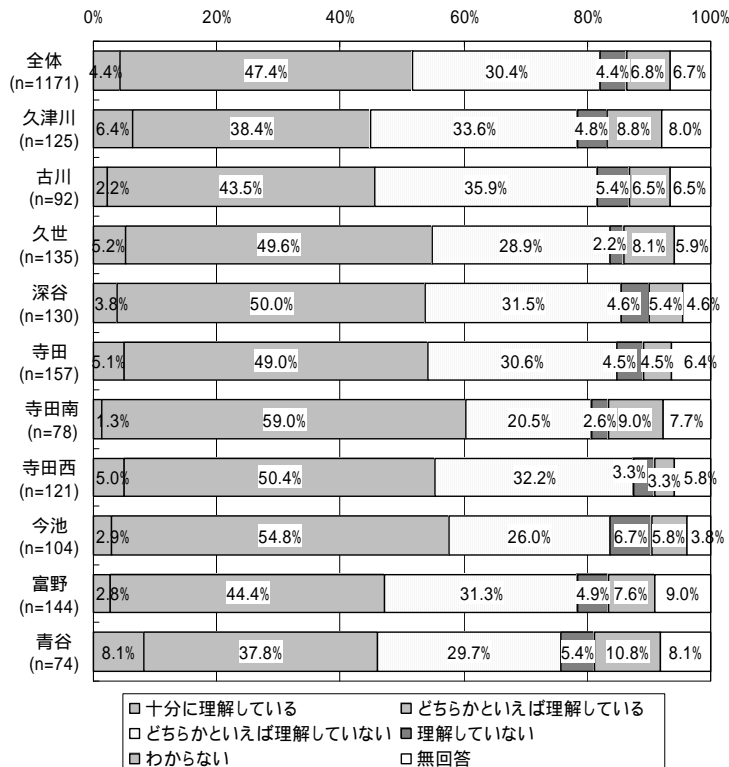
年齢別では、いずれの年齢でも全体とほぼ同じ傾向となっているが、40歳代、50歳代でやや「どちらかと言えば理解している」と回答した人が多くなっている。

地域別では、いずれの地域でも全体とほぼ同じ傾向となっているが、寺田南、今池でやや「どちらかと言えば理解している」と回答した人が多くなっている。

<年齢別>



<小学校区別>



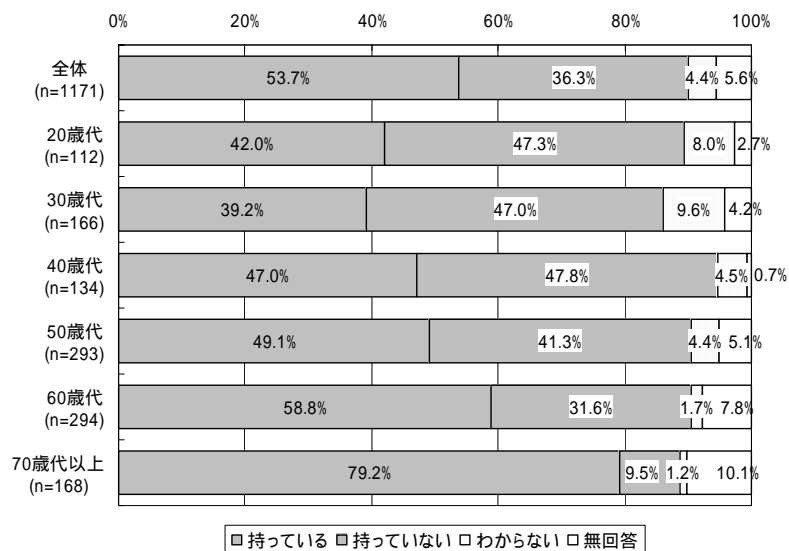
(3) あなたは“かかりつけ医”を持っていますか。あてはまる番号に をつけてください。

全体では、「持っている」と回答した人が53.7%、「持っていない」が36.3%となっている。

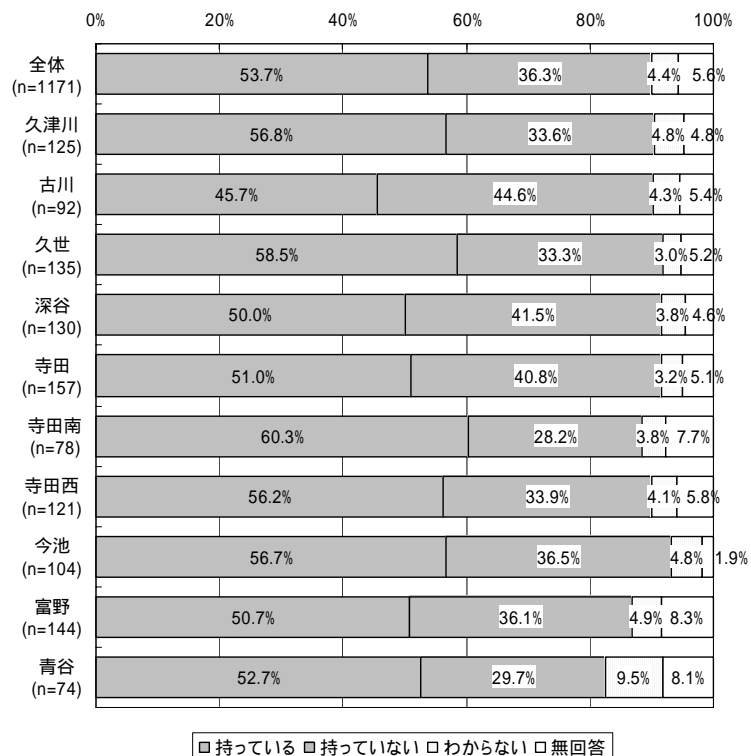
年齢別では、70歳代以上で「持っている」と回答した人が79.2%と非常に多く、年齢層があがるにつれて「持っている」と回答した人が多くなっている。

地域別では、全体とほぼ同様の傾向となっているが古川で「持っている」と回答した人が少なくなっている。

<年齢別>



<小学校区別>



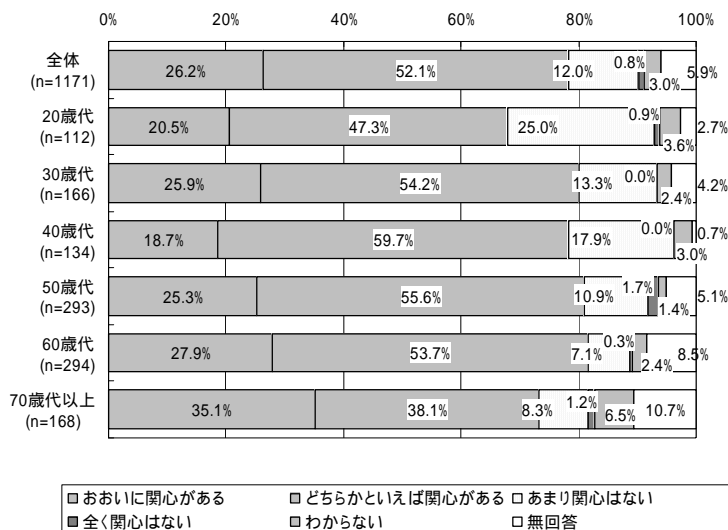
(4) 地球環境問題に対するあなたの関心はどのような状況ですか。あてはまる番号にをつけてください。

全体では、「どちらかと言えば関心がある」と回答した人が 52.1%で最も多く、次いで「大いに関心がある」が 26.2%となっており、「大いに関心がある」と「どちらかと言えば関心がある」を合計した地球環境問題に関心のある人の割合は約 8 割となっている。

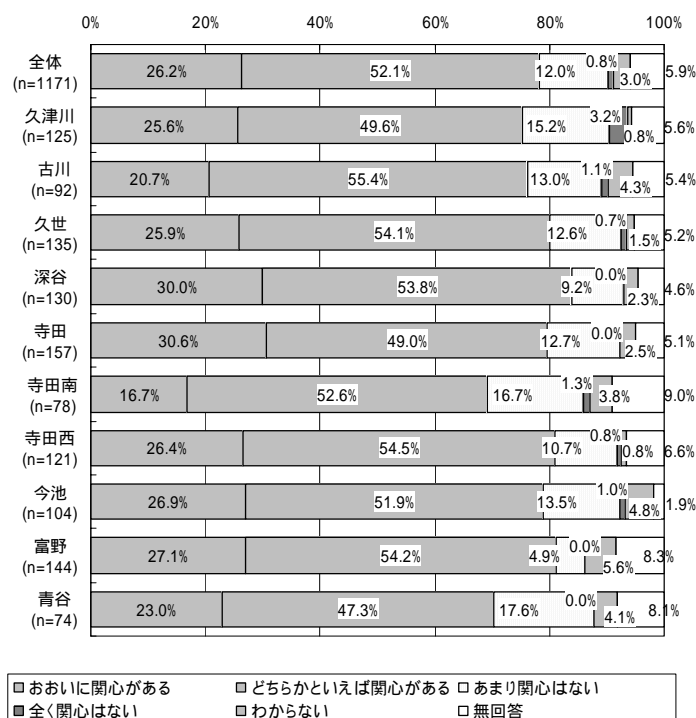
年齢別では、いずれの年齢でも全体とほぼ同じ傾向となっているが、「大いに関心がある」と「どちらかと言えば関心がある」を合計した地球環境問題に関心のある人の割合は 20 歳代と 70 歳代以上で約 7 割とやや低くなっている。

地域別では、いずれの地域でも全体とほぼ同じ傾向となっているが、「大いに関心がある」と「どちらかと言えば関心がある」を合計した地球環境問題に関心のある人の割合は寺田南、青谷で約 7 割と低くなっている。

< 年齢別 >



< 小学校区別 >



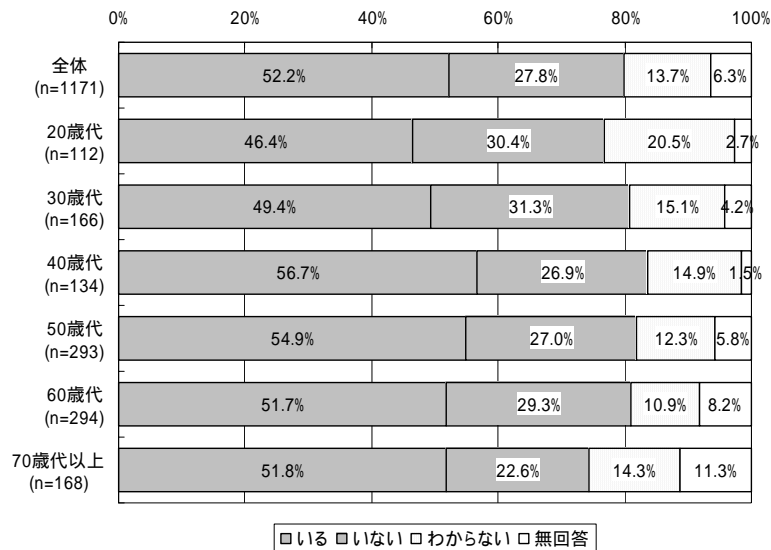
(5) あなたは“困ったときに近所に相談できる人や手助けを求められる人”がいますか。あてはまる番号に をつけてください。

全体では、「いる」と回答した人が52.2%、「いない」が27.8%となっている。

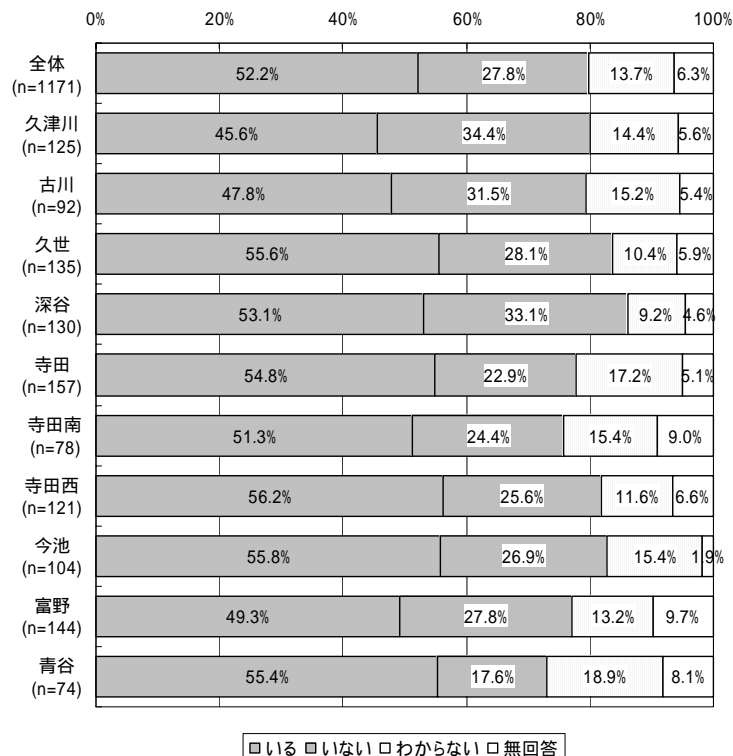
年齢別では、いずれの年齢でも全体とほぼ同じ傾向となっているが20歳代で「いる」と回答した人がやや少なくなっている。

地域別では、久津川で全体と比較して「いる」と回答した人がやや少なく、寺田西でやや多くなっている。

< 年齢別 >



< 小学校区別 >



(6) あなたは次の活動をどの程度行っていますか。あてはまる番号に をつけてください。

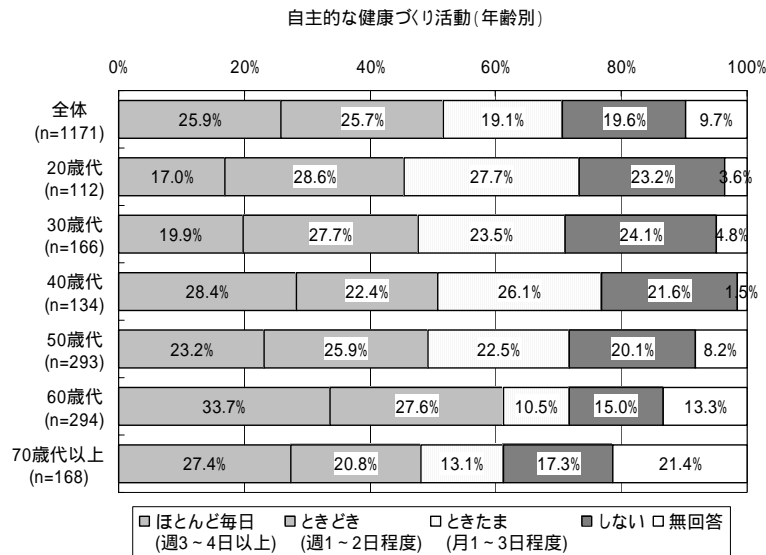
### 自主的な健康づくり活動

全体では、「ほとんど毎日」と回答した人が25.9%、「ときどき」が25.7%で二分している。「ほとんど毎日」、「ときどき」、「ときたま」を合計した自主的な健康づくり活動を行っている人の割合は約7割と高くなっている。

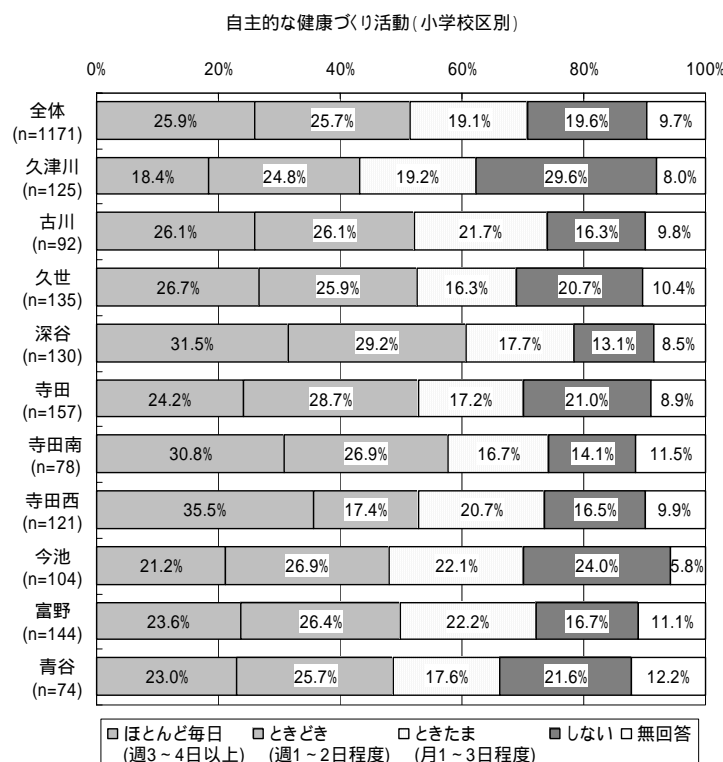
年齢別では、20歳代、30歳代で「ほとんど毎日」と回答した人が少なく、40歳代、60歳代で多くなっている。自主的な健康づくり活動を「しない」人は年齢層が上がるほど少なくなっている。

地域別では、久津川で「ほとんど毎日」と回答した人が少なく、寺田西、深谷で多くなっている。

#### < 年齢別 >



#### < 小学校区別 >



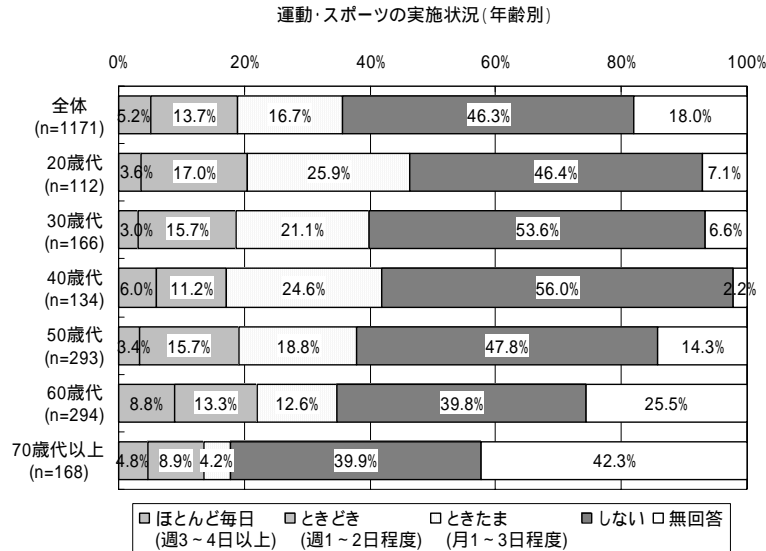
## 運動・スポーツの実施状況

全体では、「しない」と回答した人が46.3%で最も多く、次いで「ときたま」が16.7%となっている。

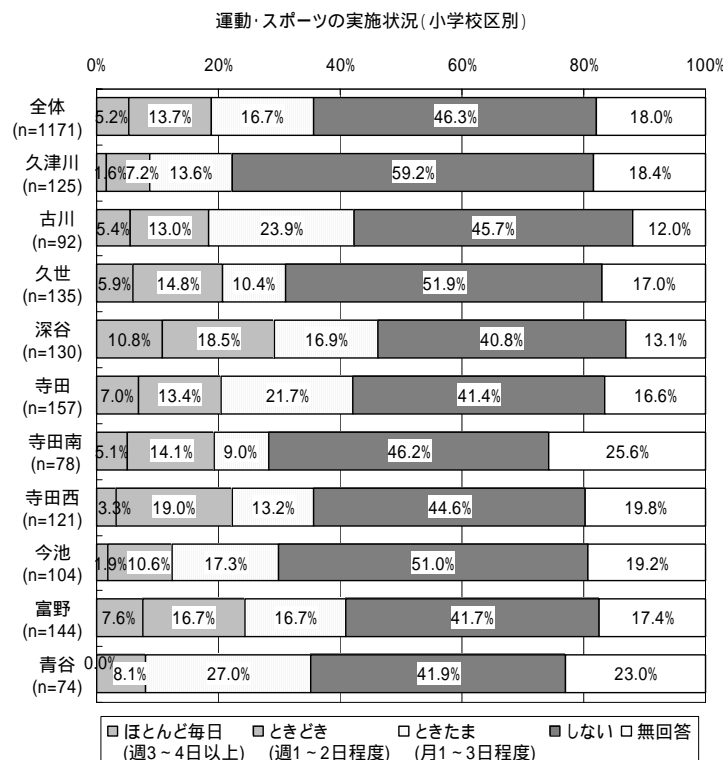
年齢別では、「しない」と回答した人が30歳代、40歳代で多く、60歳代、70歳代以上で少なくなっているが、「ほとんど毎日」、「ときどき」、「ときたま」をあわせた運動・スポーツを実施している人の割合は年齢層が上がるにつれて低くなっている。

地域別では、久津川で「しない」と回答した人が多く、深谷で少なくなっている。

### <年齢別>



### <小学校区別>



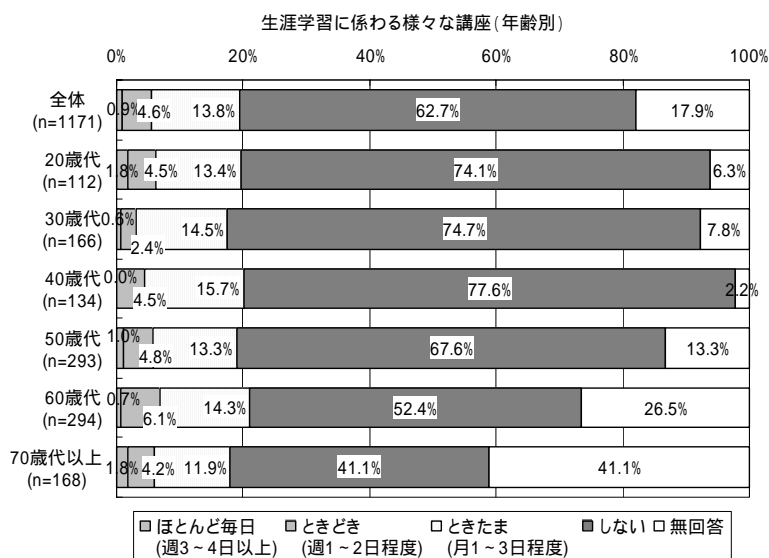
### 生涯学習に係わる様々な講座

全体では、「しない」と回答した人が 62.7%で最も多く、次いで「ときたま」が 13.8%となっている。

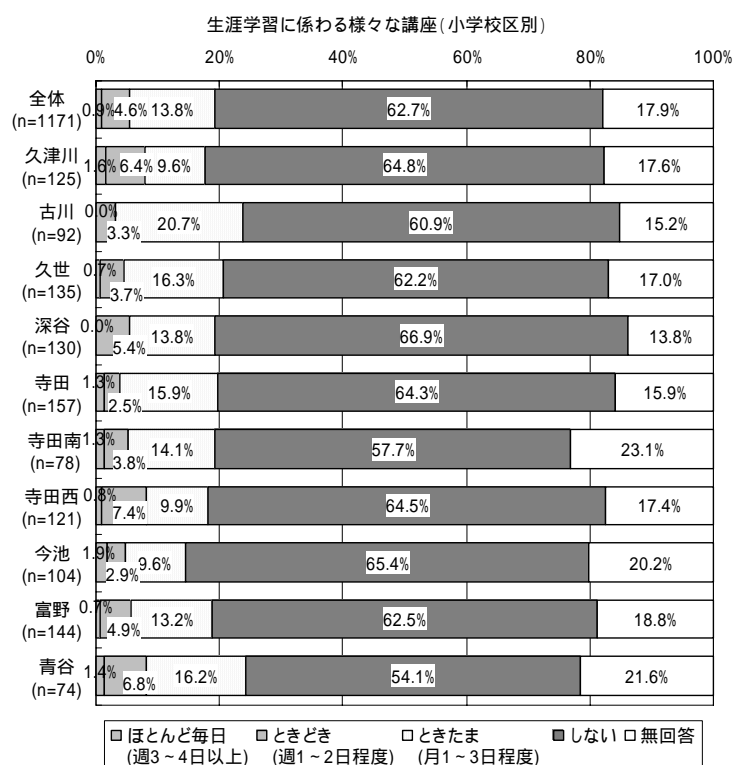
年齢別では、「しない」と回答した人が 40 歳代で最も多く、70 歳代以上で最も少なくなっているが、「ほとんど毎日」、「ときどき」、「ときたま」をあわせた生涯学習に係わる様々な講座をしている人の割合は全体とほぼ同じとなっている。

地域別では、ほぼ全体と同じ傾向となっているが、今池で「ほとんど毎日」、「ときどき」、「ときたま」をあわせた生涯学習に係わる様々な講座をしている人の割合が全体と比較して低くなっている。

#### < 年齢別 >



#### < 小学校区別 >





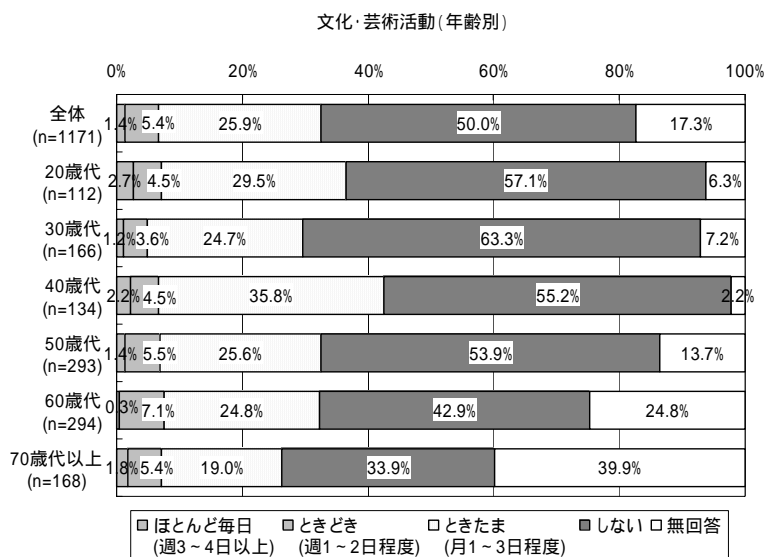
## 文化・芸術活動

全体では、「しない」と回答した人が 50.0%で最も多く、次いで「ときたま」が 25.9%となっている。

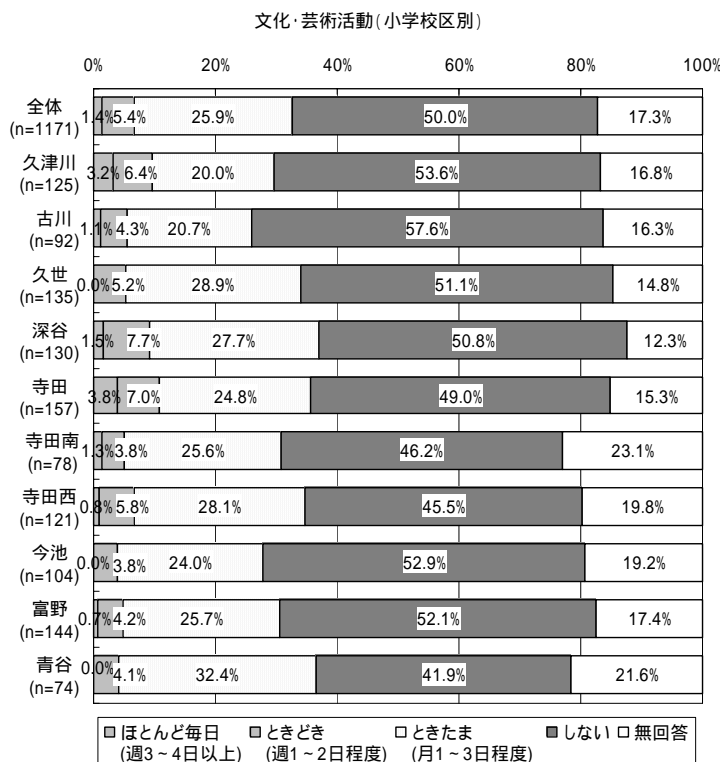
年齢別では、「しない」と回答した人が 30 歳代で最も多く、70 歳代以上で最も少なくなっているが、「ほとんど毎日」、「ときどき」、「ときたま」をあわせた文化・芸術活動をしている人の割合は 40 歳代で最も高くなっている。

地域別では、ほぼ全体と同じ傾向となっているが、古川で「ほとんど毎日」、「ときどき」、「ときたま」をあわせた文化・芸術活動をしている人の割合が全体と比較して低くなっている。

### < 年齢別 >



### < 小学校区別 >



## ・ 城陽市での定住意向について

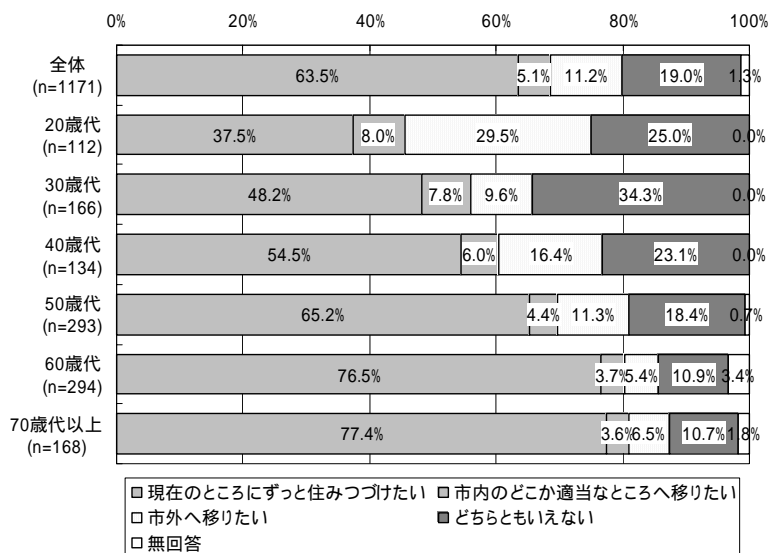
(1) あなたは、今後も現在のところに住みつづけたいと思われませんか。

全体では、「現在のところにずっと住み続けたい」が63.5%、「市内のどこか適当なところに移りたい」が5.1%、「市外へ移りたい」が11.2%、「どちらともいえない」が19.0%となっており、永住意向を持っている人が6割以上いることがわかる。

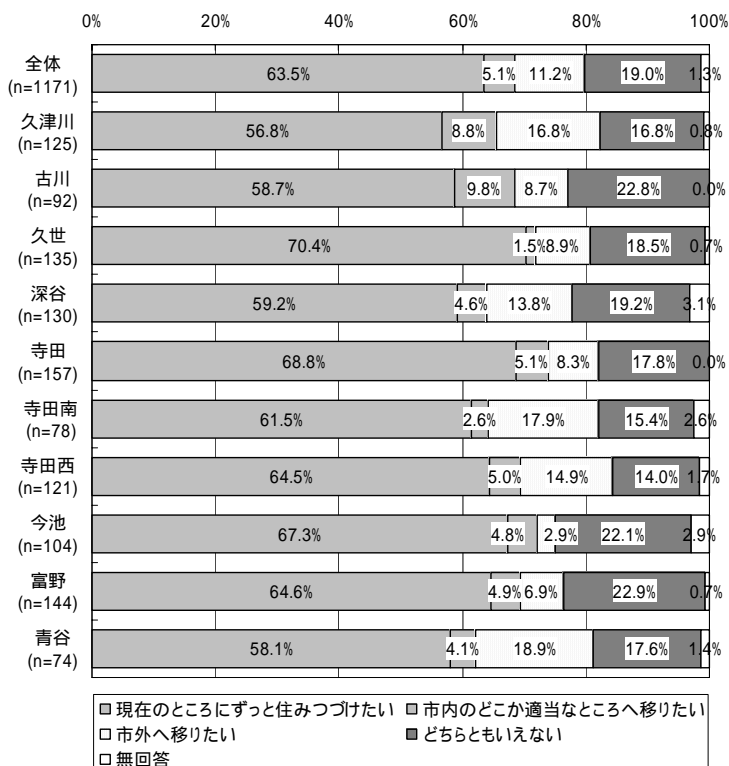
年齢別では、「現在のところにずっと住み続けたい」が60歳代で76.5%、70歳以上で77.4%と多くなっているが、20歳代では4割未満であり、若年層の転出意向が比較的高いことがうかがえる。

地域別では、すべての地域で、「現在のところにずっと住み続けたい」が6～7割であり、地域ごとに大きな違いは見られない。

### < 年齢別 >



### < 小学校区別 >



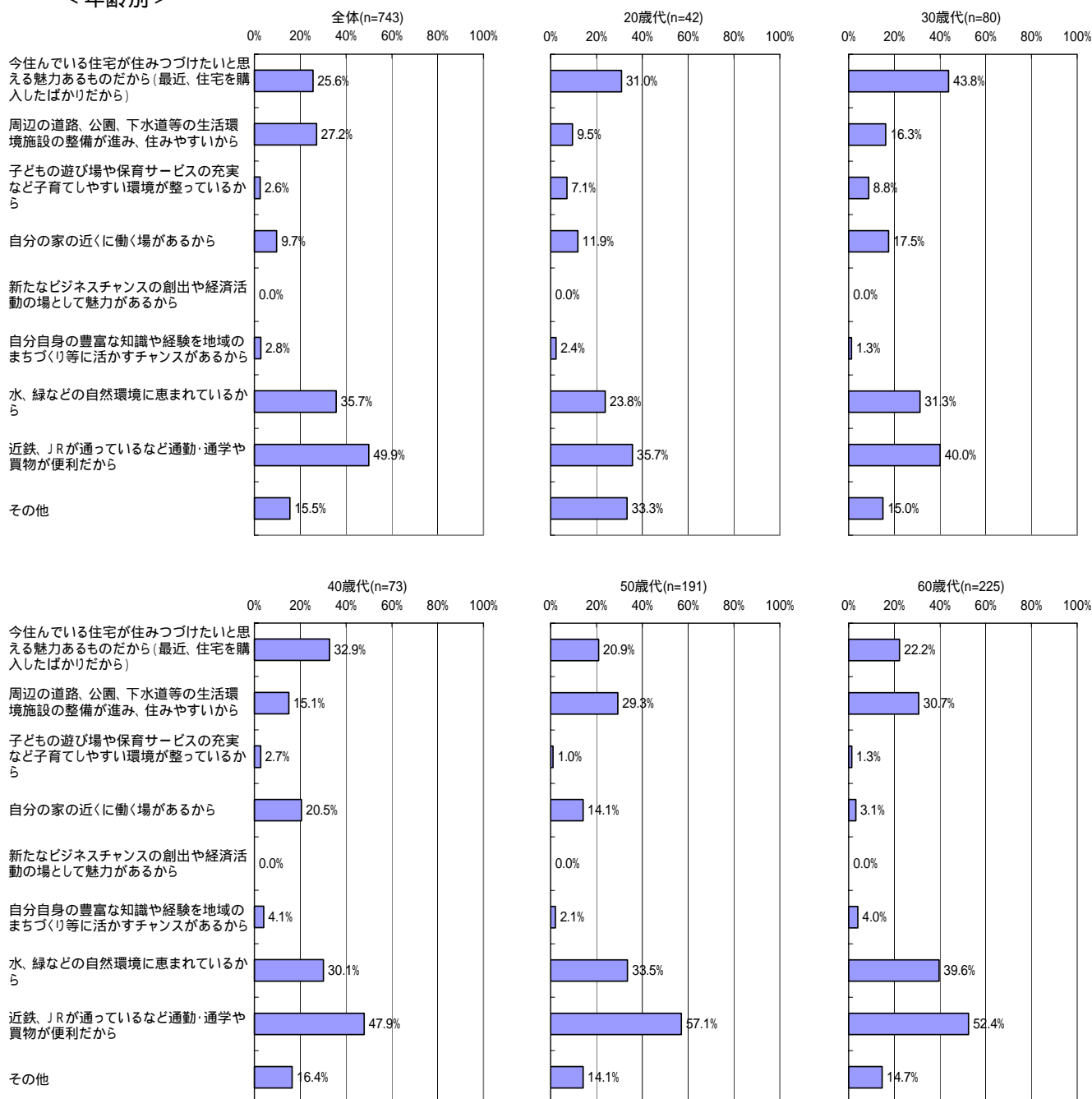
1)「1(ずっと住みつづけたい)」と回答された方におたずねします。住みつづけたい理由は何ですか。あてはまるものに2つ以内で をつけてください。

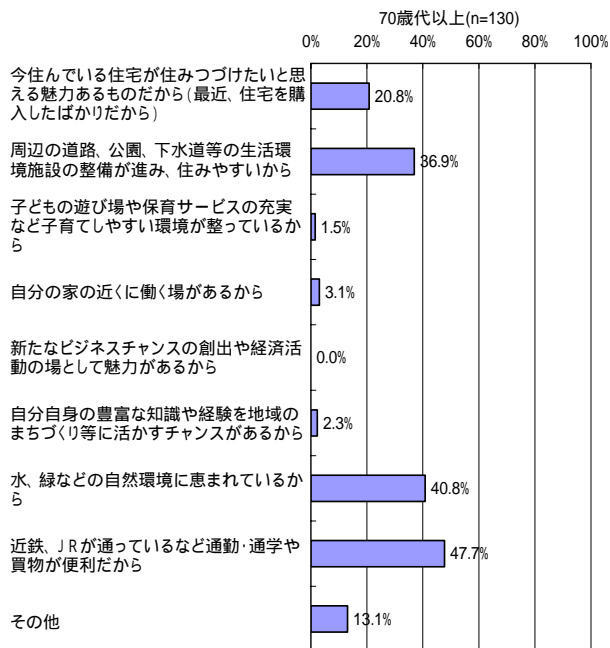
全体では「近鉄、JRが通っているなど通勤・通学や買い物が便利だから」が49.9%で最も多く、次いで「水、緑などの自然環境に恵まれているから」が35.7%となっている。これらのことから、城陽市で定住していく上でのまちの魅力は、「鉄道網の利便性」、「水と緑の自然環境」だと考えられる。

年齢別では、30歳代以外で「近鉄、JRが通っているなど通勤・通学や買い物が便利だから」が最も多くなっているが、30歳代では「今住んでいる住宅が住みつづけたいと思える魅力あるものだから」が最も多くなっている。

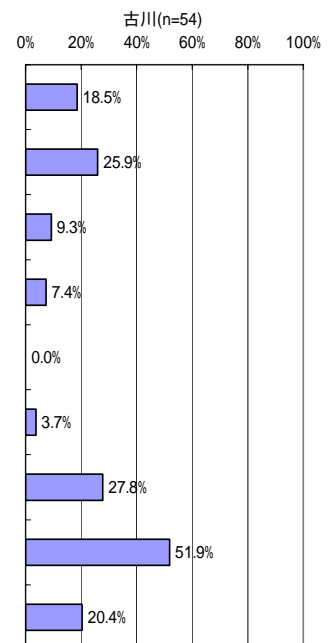
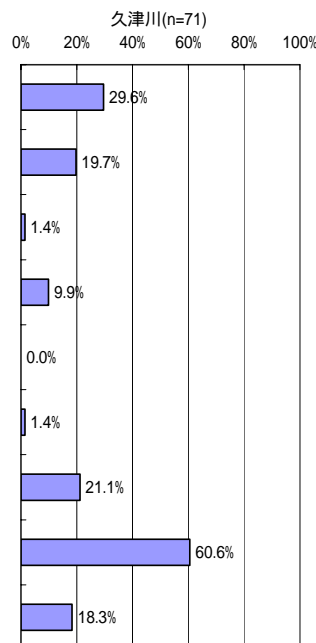
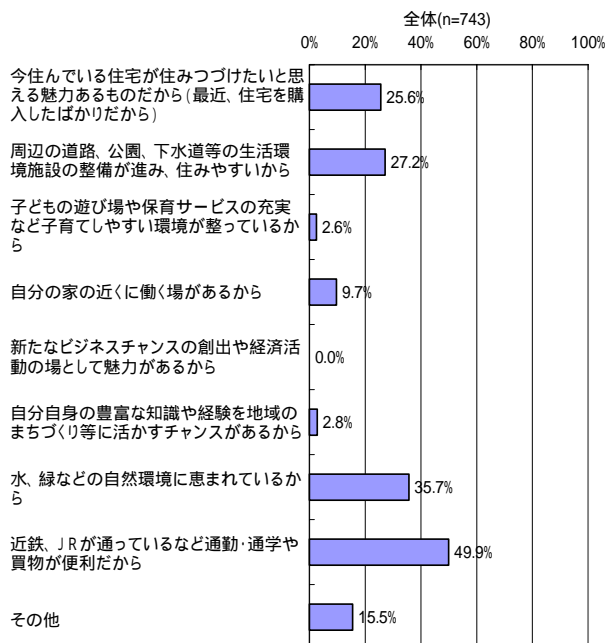
地域別では、深谷、青谷以外で「近鉄、JRが通っているなど通勤・通学や買い物が便利だから」が最も多く、深谷、青谷では「水、緑などの自然環境に恵まれているから」が多くなっている。

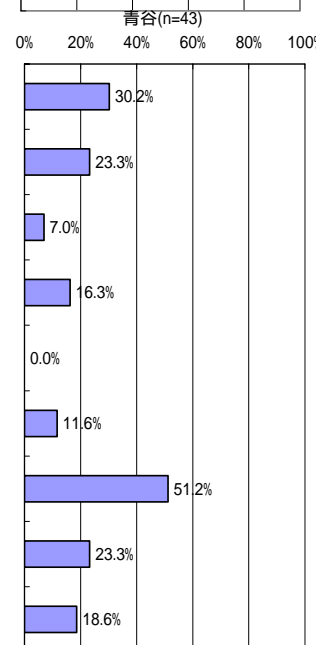
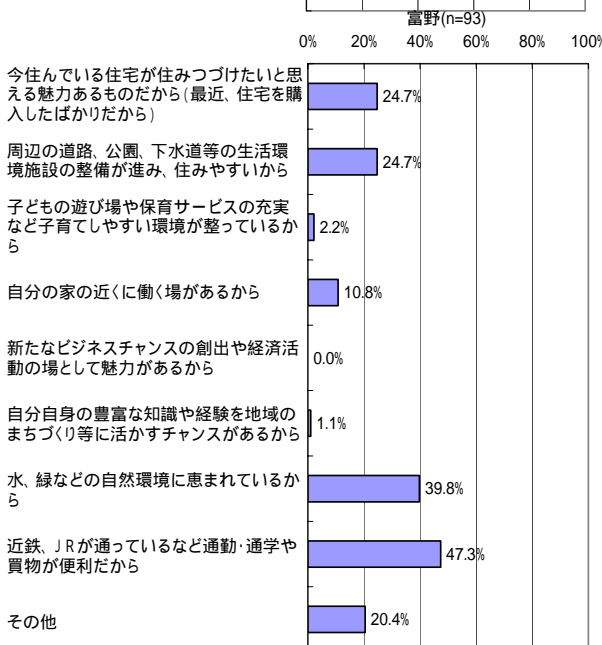
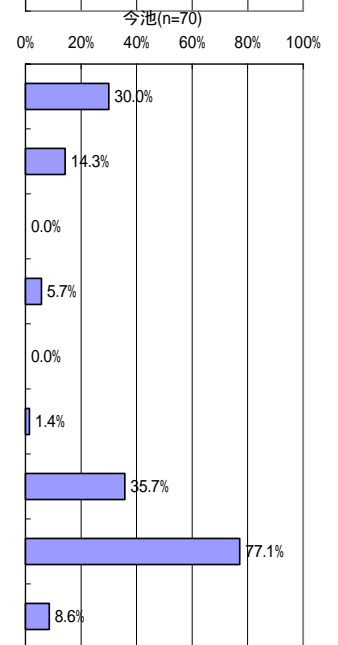
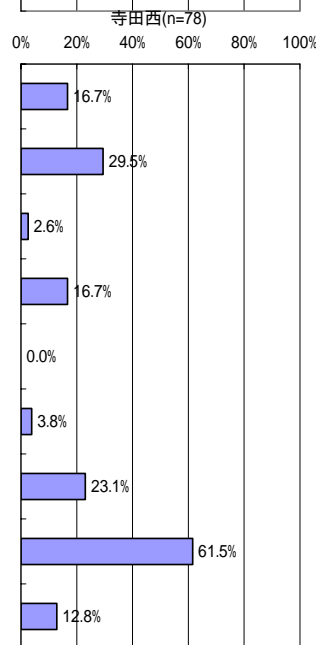
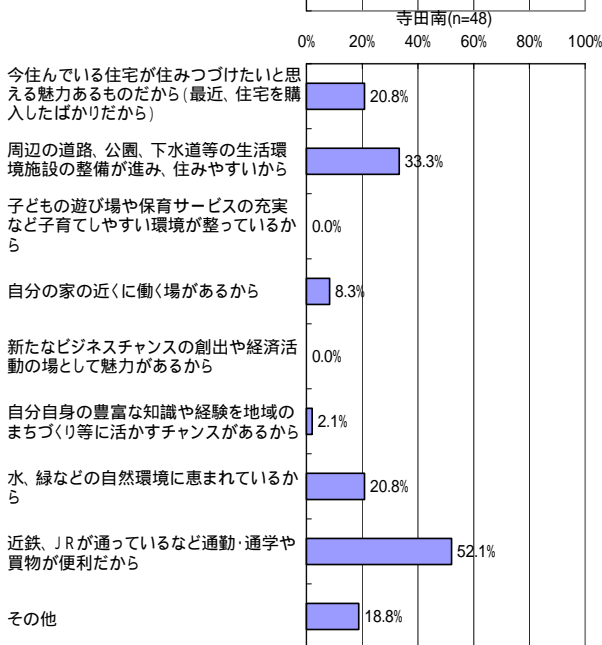
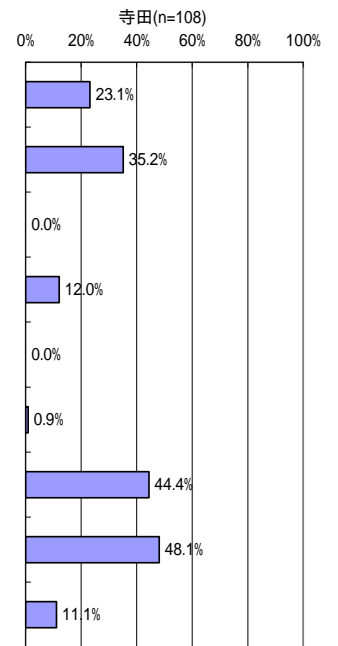
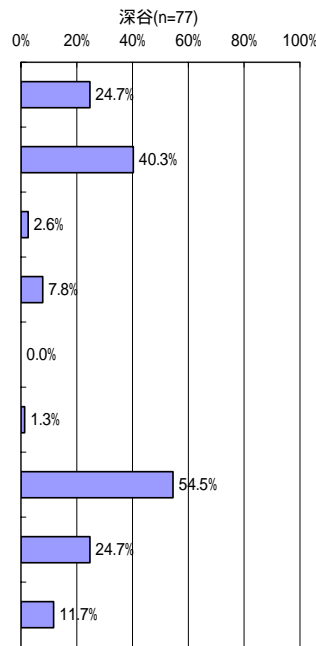
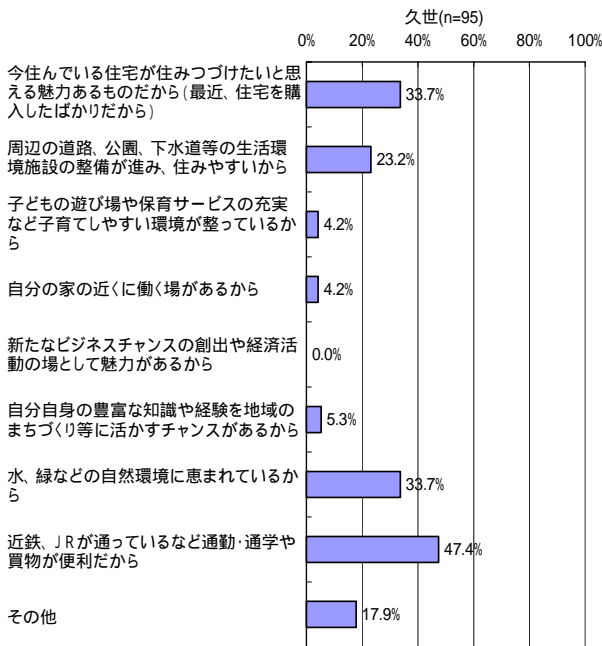
<年齢別>





< 小学校区別 >





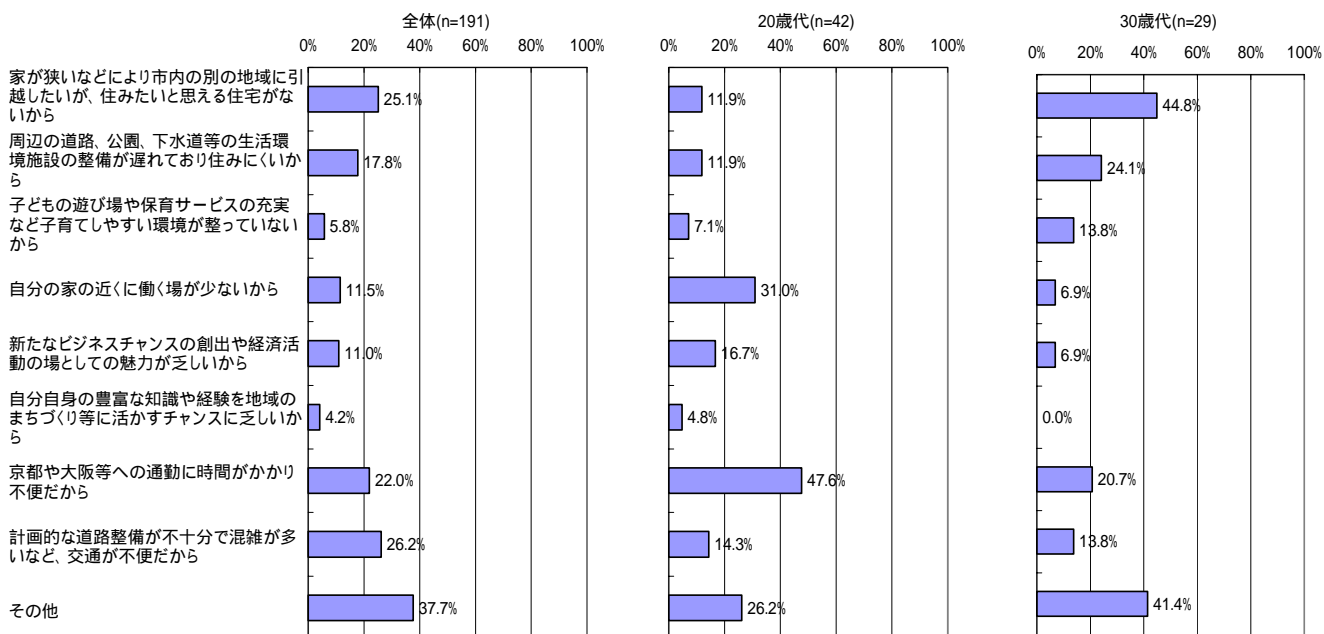
2)「2または3(移りたい)」と回答された方におたずねします。移りたい理由は何ですか。あてはまるものに2つ以内で をつけてください。

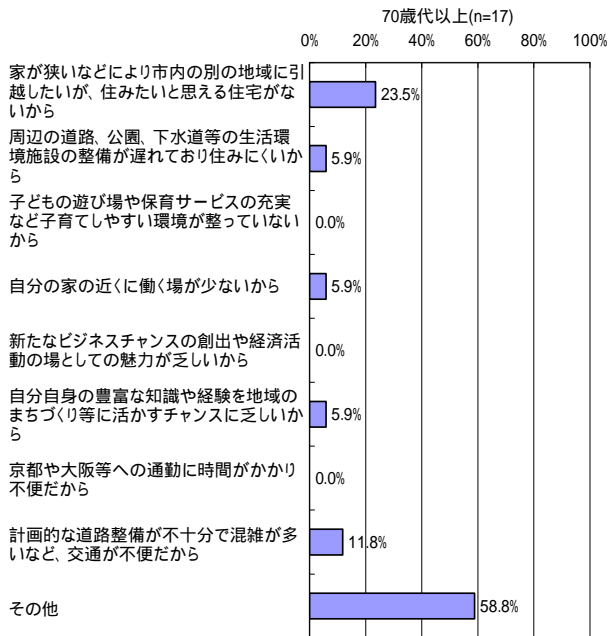
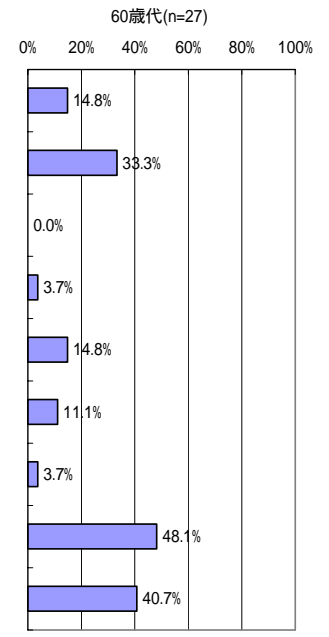
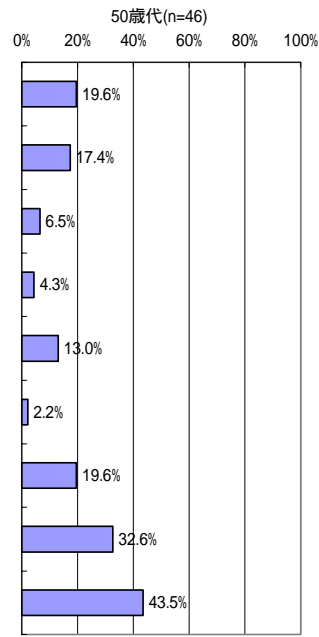
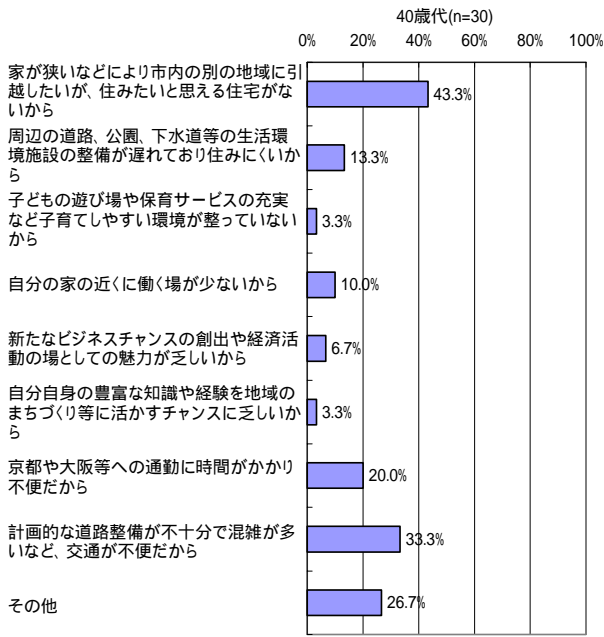
<年齢別>

全体では「計画的な道路整備が不十分で混雑が多いなど、交通が不便だから」が26.2%で最も多く、次いで「家が狭いなどにより市内の別の地域に引っ越したいが、住みたいと思える住宅がないから」が25.1%、「京都や大阪等への通勤に時間がかかり不便だから」が22.0%となっている。これらのことから、城陽市において定住化を促進していくためには、「市内外での移動利便性の向上」、「魅力ある住宅地の整備」、「鉄道の利便性の向上」が求められるものと考えられる。

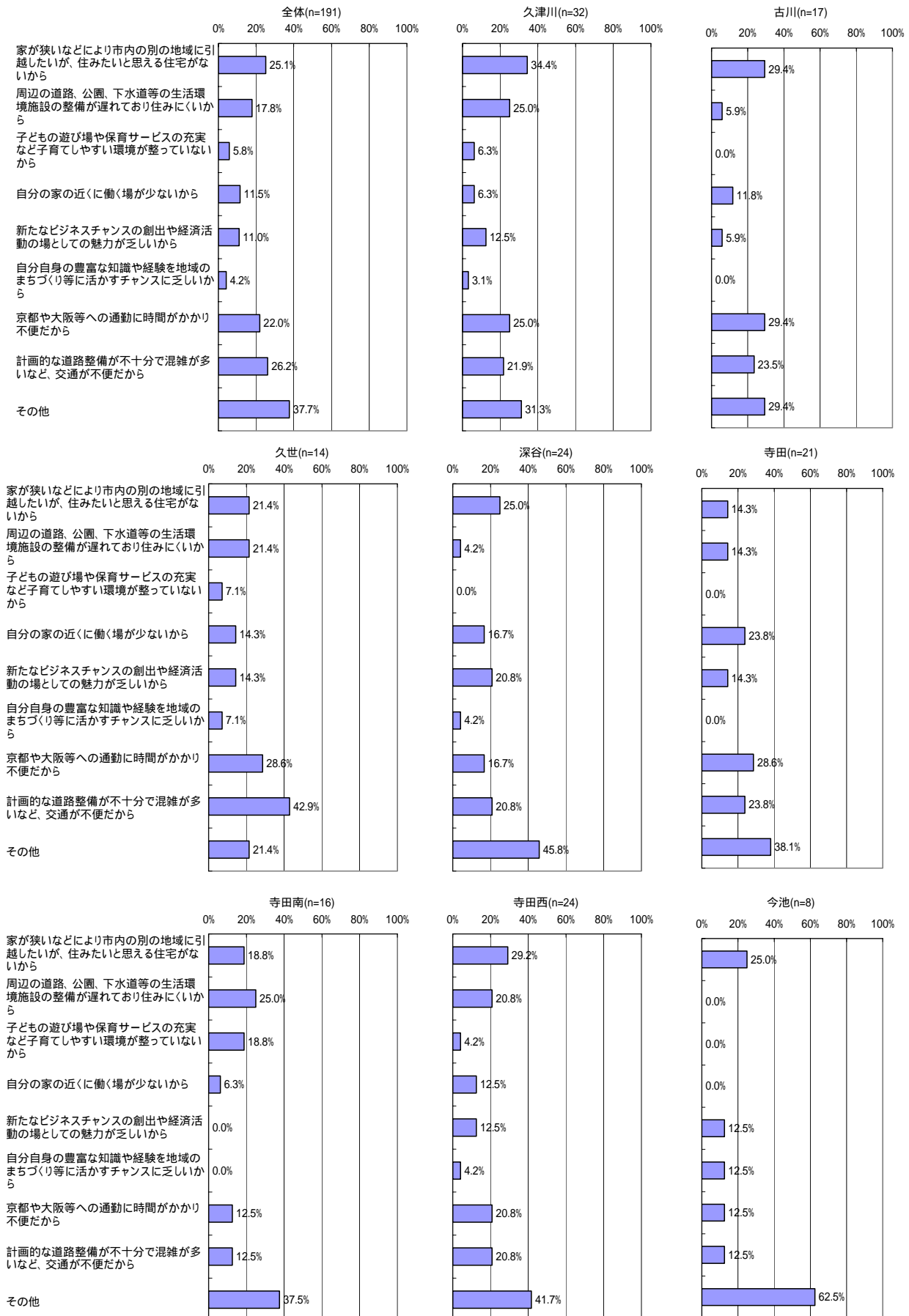
年齢別では、20歳代で「京都や大阪等への通勤に時間がかかり不便だから」、30歳代、40歳代、70歳代以上で「家が狭いなどにより市内の別の地域に引っ越したいが、住みたいと思える住宅がないから」、50歳代、60歳代で「計画的な道路整備が不十分で混雑が多いなど、交通が不便だから」が最も多くなっており、年齢別で、移りたい理由に大きな違いが見られる。

地域別では、久津川、古川、深谷、寺田西、今池で「家が狭いなどにより市内の別の地域に引っ越したいが、住みたいと思える住宅がないから」、久世、富野、青谷で「計画的な道路整備が不十分で混雑が多いなど、交通が不便だから」、寺田で「京都や大阪等への通勤に時間がかかり不便だから」、寺田南、青谷で「周辺の道路、公園、下水道等の生活環境施設の整備が遅れており住みにくいから」が上位となっている。

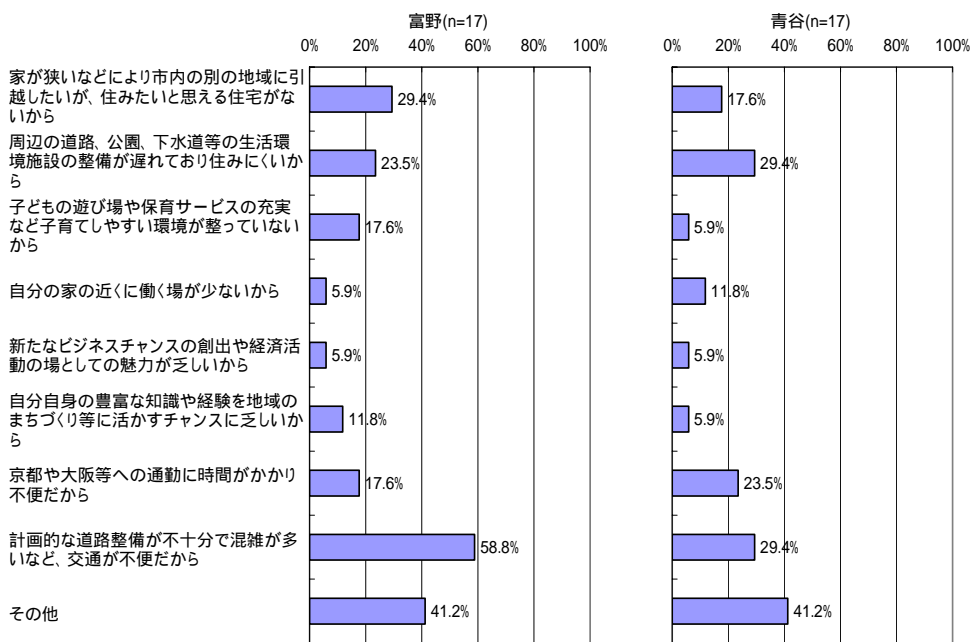




< 小学校区別 >







## ・自由意見

### 自由意見記入者数

自由意見は 528 人が記入しており、アンケートの有効回収数（1,171 票）に対し、45.1%の記入率となっている。

### 自由意見の項目と意見数

意見については、1人が複数の項目に関する意見を記入するケースがあるため、件数としては約 589 件となる。

最も多い意見の項目は、「道路」に関するもので 77 件、次いで「行財政運営」に関するものが 64 件、「交通安全対策」が 60 件、「環境・美化、緑化」が 58 件、「まちづくり全般」が 57 件となっている。

### < 自由意見の項目と件数 >

意見項目	件数
道路	77
行財政運営	64
交通安全対策	60
環境・美化、緑化	58
まちづくり全般	57
福祉・医療・保健	50
公共交通	47
その他	45
防犯・防災	28
コミュニティ	18
公共施設	15
公園	15
河川環境	11
スポーツ	10
生涯学習	9
上下水道	7
商工業	6
教育	3
農業	3
住宅	2
景観	2
歴史・文化	2
総計	589

資料  
アンケート調査票

## 「これからのまちづくりにあなたの声を」ご協力をお願い

平素は、城陽市の市政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

城陽市では現在、新たな総合計画（(仮称)第3次城陽市総合計画）の策定に向けた検討作業を進めておりますが、市民の皆様への市政に関するお考えやご意見等を基礎資料とし、今後の市政の各施策に反映させていくため、「まちづくり市民アンケート」を実施することとなりました。

この調査の対象となられる方は、平成18年（2006年）8月1日現在、市内にお住まいの20歳以上の方の中から、あなたを含めて2,000人を無作為に抽出し、選ばせていただきました。

調査結果は統計的に処理し、個人の秘密は厳守いたしますので、本調査の趣旨をご理解いただき、重ねてご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成18年（2006年）9月 城陽市

### ご記入にあたってのお願い

1. このアンケートのご回答は、原則として封筒の宛名ご本人にお願いします。
2. ご回答は、特に指定のない場合は設問ごとにあてはまるものの番号に 印をつけていただくようになっております。また、「その他」にあてはまる場合は、その内容を（ ）内に具体的にご記入ください。
3. ご記入いただいたアンケート票は、同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま切手を貼らず、平成18年9月18日（月）までにご投函ください。
4. ご記入にあたって、わからないことがありましたら、下記へお問い合わせください。

城陽市役所 行財政改革推進部 行政改革推進課 電話 0774 (56) 4014



# アンケート調査票

## ・あなたご自身のことについておたずねします

( 1 ) あなたの性別は。

1. 男性

2. 女性

( 2 ) あなたのお年は。

1. 20 歳代

2. 30 歳代

3. 40 歳代

4. 50 歳代

5. 60 歳代

6. 70 歳以上

( 3 ) あなたの職業は。

1. 会社員、会社役員、公務員

2. パートタイマー、内職

3. 自営業

4. 農林漁業

5. 専業主婦

6. 学生

7. 無職（専業主婦・学生を除く）

8. その他（具体的に：

）

( 4 ) あなたは城陽市にお住みになって何年になりますか。

1. 3 年未満

2. 3 年以上 10 年未満

3. 10 年以上 15 年未満

4. 15 年以上 30 年未満

5. 30 年以上

6. 生まれてからずっと

( 5 ) あなたのお住まいは。

1. 持ち家

2. 民営の賃貸住宅（一戸建または長屋建）

3. 民営の賃貸住宅（マンションなどの共同住宅）

4. 公営の賃貸住宅

5. 給与住宅（社宅・寮など）

6. その他（具体的に：

）

( 6 ) あなたのお住まいの小学校区は。

1. 久津川

2. 古川

3. 久世

4. 深谷

5. 寺田

6. 寺田南

7. 寺田西

8. 今池

9. 富野

10. 青谷

## ・城陽市のことについておたずねします

(1) あなたが城陽市に住んでいて、次の項目についてどのように感じているのかをお答えください。あてはまる番号に をつけてください。

	満足	やや満足	やや不満	不満
鉄道の利用しやすさ	1	2	3	4
路線バス( )の利用しやすさ	1	2	3	4
道路の利用しやすさ・安全性	1	2	3	4
歩道の利用しやすさ・安全性	1	2	3	4
水や緑などの自然環境の豊かさ	1	2	3	4
居住環境のよさ	1	2	3	4
川の水のきれいさ	1	2	3	4
市からの情報発信や情報提供	1	2	3	4

路線バス：市が補助金を交付して運行している近鉄寺田駅とプラムイン城陽を結ぶ路線、市内北東部を循環する路線、及び鴻ノ巣台地域と水主地域を結ぶ路線をいう。

## ・あなたの日常生活についておたずねします

(1) あなたの普段の生活について、次の項目についておたずねします。あなたの実感に最も近い番号に をつけてください。

	そう思う	やや思う	あまり 思わない	まったく 思わない
防犯の面からみて、安全に暮らせるまちだと思いますか	1	2	3	4
市内を流れる川について、親しみやすいと感じていますか	1	2	3	4
高齢になっても、地域で安心して暮らせるまちだと思いますか	1	2	3	4
働くことと子育てが両立できる環境が整っていると思いますか	1	2	3	4
育児について相談できる場が整っていると思いますか	1	2	3	4
青少年が安全で健やかに育つ環境が整っていると思いますか	1	2	3	4
男女は平等であると思いますか	1	2	3	4
人権は尊重されていると思いますか	1	2	3	4
市役所職員の仕事や対応に満足していますか	1	2	3	4

(2) あなたは地震などの災害が起きたときに、何をすべきか理解していますか。あてはまる番号に をつけてください。

1. 十分に理解している	2. どちらかといえば理解している
3. どちらかといえば理解していない	4. 理解していない
5. わからない	

(3) あなたは“かかりつけ医”を持っていますか。あてはまる番号に をつけてください。

1. 持っている	2. 持っていない
3. わからない	

(4) 地球環境問題に対するあなたの関心はどのような状況ですか。あてはまる番号に をつけてください。

1. おおいに関心がある	2. どちらかといえば関心がある
3. あまり関心はない	4. 全く関心はない
5. わからない	

(5) あなたは“困ったときに近所に相談できる人や手助けを求められる人”がいますか。あてはまる番号に をつけてください。

1. いる	2. いない
3. わからない	

(6) あなたは次の活動をどの程度行っていますか。あてはまる番号に をつけてください。

自主的な健康づくり活動  
 例) 食事や栄養への配慮、定期健診の受診、ウォーキングなどの自主トレーニングなど  
 運動・スポーツの実施状況  
 例) 自主的なスポーツ活動、スポーツチームへの参加、体育協会等での活動など  
 生涯学習に係わる様々な講座  
 例) コミュニティセンター、カルチャーセンターなどでの各種講座の受講など  
 文化・芸術活動  
 例) 文化パルク等での音楽や演劇の鑑賞、神社仏閣などの拝観や見学、サークル活動など

	ほとんど毎日(週3~4日以上)	ときどき(週1~2日程度)	ときたま(月1~3日程度)	しない
自主的な健康づくり活動	1	2	3	4
運動・スポーツの実施状況	1	2	3	4
生涯学習に係わる様々な講座	1	2	3	4
文化・芸術活動	1	2	3	4

## ・城陽市での定住意向についておたずねします

(1) あなたは、今後も現在のところに住みつづけたいと思われませんか。

1. 現在のところにずっと住みつづけたい…………… (1) - 1 へ
2. 市内のどこか適当なところへ移りたい…………… (1) - 2 へ
3. 市外へ移りたい…………… (1) - 2 へ
4. どちらともいえない

(1) - 1 「1(ずっと住みつづけたい)」と回答された方におたずねします。住みつづけたい理由は何ですか。あてはまるものに2つ以内をつけてください。

1. 今住んでいる住宅が住みつづけたいと思える魅力あるものだから(最近、住宅を購入したばかりだから)
2. 周辺の道路、公園、下水道等の生活環境施設の整備が進み、住みやすいから
3. 子どもの遊び場や保育サービスの充実など子育てしやすい環境が整っているから
4. 自分の家の近くに働く場があるから
5. 新たなビジネスチャンスの創出や経済活動の場として魅力があるから
6. 自分自身の豊富な知識や経験を地域のまちづくり等に活かすチャンスがあるから
7. 水、緑などの自然環境に恵まれているから
8. 近鉄、JRが通っているなど通勤・通学や買物が便利だから
9. その他(具体的に: )

(1) - 2 「2 または 3(移りたい)」と回答された方におたずねします。移りたい理由は何ですか。あてはまるものに2つ以内をつけてください。

1. 家が狭いなどにより市内の別の地域に引越したいが、住みたいと思える住宅がないから
2. 周辺の道路、公園、下水道等の生活環境施設の整備が遅れており住みにくいから
3. 子どもの遊び場や保育サービスの充実など子育てしやすい環境が整っていないから
4. 自分の家の近くに働く場が少ないから
5. 新たなビジネスチャンスの創出や経済活動の場としての魅力が乏しいから
6. 自分自身の豊富な知識や経験を地域のまちづくり等に活かすチャンスに乏しいから
7. 京都や大阪等への通勤に時間がかかり不便だから
8. 計画的な道路整備が不十分で混雑が多いなど、交通が不便だから
9. その他(具体的に: )

## ・自由意見

城陽市のまちづくりについて、ご意見・ご提案がありましたら、下の空欄にご自由にお書きください。


以上、ご協力ありがとうございました